

# TOTO

**組立要領書****2010.04版**

## 浴室テレビ (14型ワイド) EKK30050/PTZ0040

- この組立要領書は、試運転が完了するまで捨てないでください。
- 試運転は電気工事終了後に行いますので、元請店へ依頼のうえ、組立要領書をお渡しくください。
- TOTO製システムバスルームに取付ける場合は、この組立要領書とシステムバスルーム組立要領書を合わせてご覧ください。
- この組立要領書に記載してあるシステムバスルーム向けの取付要領はTOTOシステムバスルーム用のものです。他社システムバスルームに取付けの際は、各システムバスルームメーカーにお問い合わせください。

### UB組立業者様へ

- 試運転は電気工事終了後に行いますので、元請店様へ組立要領書をお渡しください。

### 元請店様 (電気工事業者様) へ

- P.21～27「共通取付要領」を参照のうえ、配線の組立をお願いします。

### 元請店様へ

- P27「12 試運転」を参照のうえ、試運転をお願いします。



# 目次

取付の前に	安全上のご注意		1
	工具		3
	取付手順		5
	セット部品の確認		5
	試運転に必要な部材		6
	システム図		7
システムバスルーム取付要領	1. 取付位置の確認		9
	2. 壁けがき・穴あけ		9
	3. ケーブルの設置		10
	4. 電源・チューナーボックスの設置		11
	5. モニター取付金具の設置		12
	6. モニターの取付け		13
在来浴室取付要領	1. 取付位置の確認		15
	2. 壁けがき・穴あけ		15
	3. ケーブル設置		16
	4. 電源・チューナーボックスの設置		17
	5. モニター取付金具の設置		19
	6. モニターの取付け		19
共通取付要領	7. カードリーダーの設置	電気工事店様実施事項	21
	8. 電源ケーブル・アンテナ線の接続	電気工事店様実施事項	22
	9. 外部機器用ケーブルの接続	電気工事店様実施事項	23
	10. 壁コンセントの取付け〈材工別〉	電気工事店様実施事項	26
	11. ラベルの貼付け〈材工別〉	電気工事店様実施事項	27
	12. 試運転	元請店様実施事項	27
	13. リモコンコードを設定する		29
その他	14. 浴室オーディオとの接続方法		32
	15. 別売品		32
	※ システムバスルーム後付け時のご注意		32

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

組立の前に、  
この安全上の注意をよくお読みの上、  
正しく据付けてください。

◎この組立要領書では、製品を安全に正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害および組立業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎下に示す絵表示は組立要領書や製品に表示して、組立業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくものです。  
内容をよく理解して正しく取付けてください。

 禁止	この絵表示は、行ってはいけない「禁止」の内容です。
 必ず実行	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
 アース線接続	この絵表示は、必ずアース線を接続していただく「強制の内容です。」

◎組立完了後、試運転及び各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなどの安全上の不具合が無いことを確かめてください。

◎同梱されている取扱説明書は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失や汚れのないように大切に保管し、組立完了後、必ず使用者または組立責任者にお渡しできるようシャワーヘッドまたはタオル掛けにひとまとめに吊してください。

## 警告



設置は、組立要領書にしたがって確実に  
設置が不完全な場合、感電や火災などの原因となります。  
また、漏水により家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。



交流100V以外は使用しない  
感電や発熱・火災の原因となるおそれがあります。



電気工事は関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者（電気工事士）」が行う  
接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります。



漏電遮断器が取付けられていることを確認する  
もし取付けられていなければ電気工事店へ依頼して必ず取付けてください。感電するおそれがあります。



開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する  
段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。  
また、ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。



製品の改造や分解は行わない  
火災や感電、落下による傷害のおそれがあります。

## 注意



組立に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって、正しく使用する  
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因につながるおそれがあります。



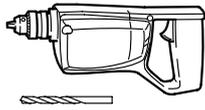
機器の取付けは、確実に  
止水不良による漏水のおそれがあります。

## 取付け前のご注意

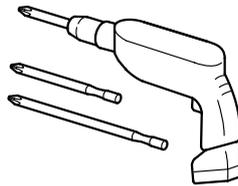
- テレビ取付けの際、必要に応じ壁裏補強を実施してください。
- スチームサウナ等、高温（50℃を超える）になる場合には取付けはできません。
- 浴室乾燥機のある浴室に取付ける場合は、温風が浴室テレビに直接あたらない場所をお選びください。
- 屋外から直射日光のあたる場所への取付けは避けてください。
- 薬品を使用するなど通常環境と異なる場所への取付けはできません。
- 正面から浴室テレビを見ることが出来る位置に取付けてください。
- 受信可能チャンネルは地上アナログ放送VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63）、地上デジタル放送001～999です。BS、CS放送等のチューナーは内蔵していません。
- このテレビは日本国内のみで使用できます。外国では、放送方式・電源電圧が異なりますので使用できません。

# 工 具

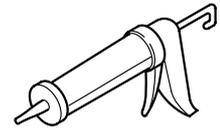
※在来浴室への取付けには、下記以外の工具が必要となる場合があります。  
現場に合わせて、工具を準備してください。



電動ドリル  
ドリル刃φ2.8、  
φ6 (φ50下穴用)



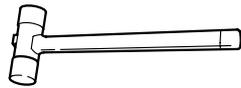
ドライバービット  
⊕ 短・長 No.2・3 (先端サイズ)  
電動ドライバー (トルク調整機能付)



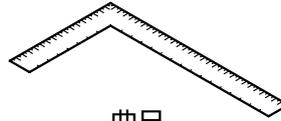
コーキングガン



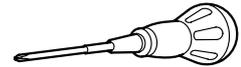
ホルソー  
φ50



樹脂ハンマー



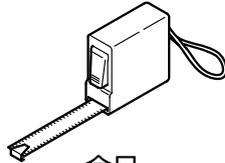
曲尺



短寸のドライバー  
(100mm以内)  
⊕ No.2 (先端サイズ)



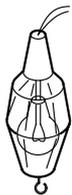
水平器



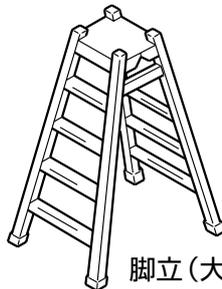
金尺



コードリール

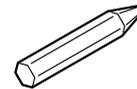


作業灯



脚立 (大・小)

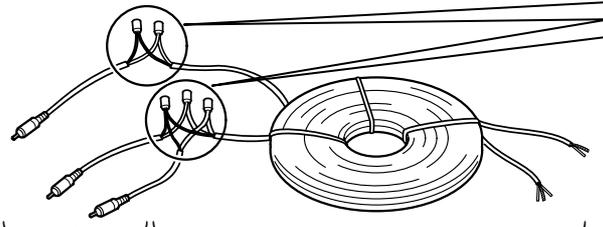
※TOTO製システムバスルームに取付ける場合。



特殊ポンチ  
EKL01025

## 現場必要部材 (お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合は、取付に必要となりますので別途手配ください。)

### 外部入力用ケーブル×2



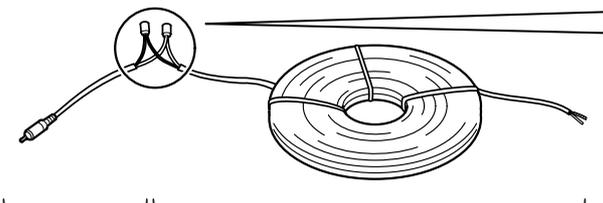
市販のRCAピンプラグ接続コード (映像×1、  
音声×2) (※1)に高周波同軸ケーブル3C-2V  
または3C-2VS (映像用)・OFCシールド線 (メ  
ガネ平行シールド線) 芯線断面積0.23mm<sup>2</sup>以  
上 (音声用) を圧着し、使用してください。

(※1の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続  
する場合は必ず合計20m以内としてください。)

RCAピンプラグ  
接続コード (市販品)

映像用:日立電線 (株) 製 高周波同軸ケーブル3C-2Vまたは3C-2VS 相当品  
音声用:パナソニック電工 (株) 製 オーディオ用シールド線AD-RDAFW\*\* 相当品  
\*\*は長さを示します。(15:15m、30:30m、45:45m、60:60m)

### 外部コントロール用ケーブル



市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コード  
(※2)にOFCシールド線 (1芯または2芯) 芯  
線断面積0.1mm<sup>2</sup>以上、外径φ2.7以上 (外部  
コントロール用) を圧着し、使用してください。

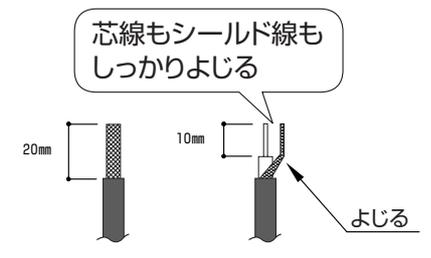
(※2の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続  
する場合は必ず合計20m以内としてください。)

φ3.5モノラル  
ミニプラグ  
接続コード (市販品)

外部コントロール用:日立電線 (株) 製 UL2552-SW 2×26AWG (7/0.16) LF 相当品

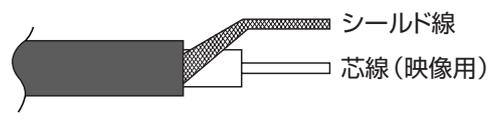
# 外部入力用ケーブル・外部コントロール用ケーブルの処理方法

ケーブルの切断した端を右図のように処理しておきます。  
 外皮は20mm、芯線は10mmほどむいておき、しっかりよじっておきます。



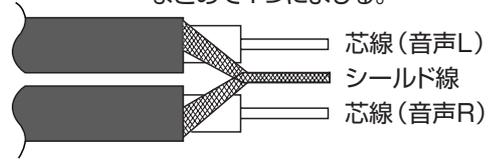
## 外部入力用ケーブル

〈映像用〉 シールド線と芯線(映像用)をそれぞれしっかりよじっておく。



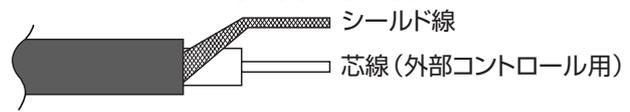
〈音声用〉

芯線(音声L, 音声R)をそれぞれよじり、シールド線は芯線の間でまとめて1つによじる。

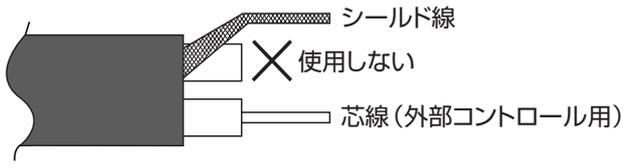


## 外部コントロール用ケーブル

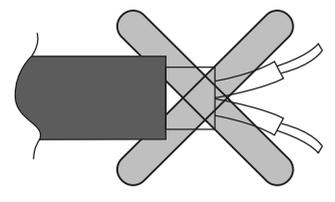
1芯の場合 シールド線と芯線(外部コントロール用)をそれぞれしっかりよじっておく。



2芯の場合 シールド線と芯線(外部コントロール用)1本をそれぞれしっかりよじっておく。



※シールド線を使用せずに、2芯のケーブルを2本使用すると、故障や動作不良の原因となります。

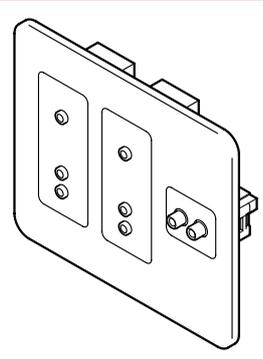


## 現場必要部材 (お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合は、取付に必要となりますので別途手配ください。)

### ⚠ 注意



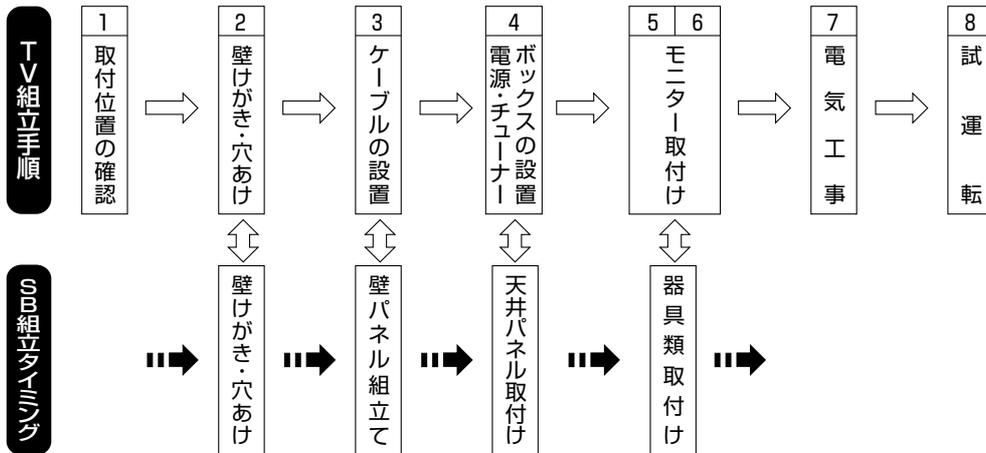
- 高周波同軸ケーブル(映像用)/OFCシールド線(音声用)+市販のRCAピンプラグ接続コード、OFCシールド線(外部コントロール用)+市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コードはそれぞれ合計20m以内になしてください。20mより長いと浴室テレビのリモコンで外部機器を操作できない場合があります。



部品	数量
AV用信号コンセント (パナソニック電工(株)製 WN4822 相当品)	2
オーディオ用信号コンセント (パナソニック電工(株)製 WN4821 相当品)	1
取付枠 (パナソニック電工(株)製 WN3710020 相当品)	3
プレート(プレートカバー、プレート枠) (パナソニック電工(株)製 WN6007W 相当品)	1

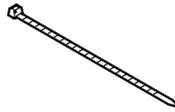
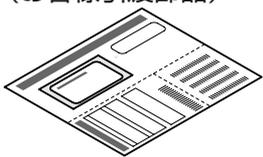
# 組立手順

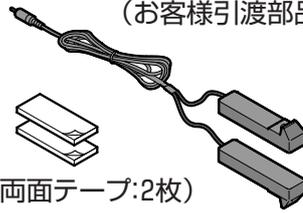
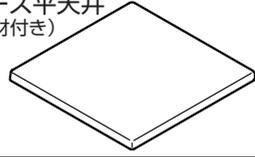
※システムバスルーム取付けの場合は、システムバスルーム組立にあわせて取付けてください。  
 ※在来浴室取付けや後付けの場合は現場にあわせて変更してください。



# セット部品の確認

<p>防水モニター (以下モニター)</p>	<p>モニター取付金具</p>		
<p>電源・チューナーボックス</p>	<p>カードリーダー</p>		
<p>防水リモコン (以下リモコン) (お客様引渡部品)</p>	<p>リモコンホルダー (お客様引渡部品)</p>	<p>モニター中継ケーブル (4500mm)</p>	<p>カードリーダー中継ケーブル (4500mm)</p>

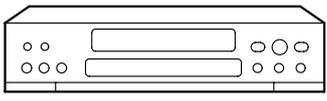
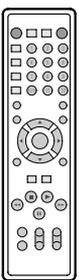
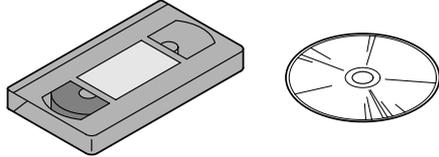
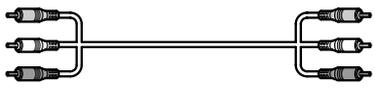
<b>結束バンド</b> ※電源・チューナーボックスに同梱 	<b>バンド固定具</b> ※電源・チューナーボックスに同梱 	<b>バンド固定具固定用ねじ 1本</b> ※電源・チューナーボックスに同梱 	<b>地上波専用 B-CASカード&lt;青&gt;</b> (お客様引渡部品) 
<b>ビスカバー</b> 	モニター取付金具取付ねじ 4.2×25、6本		
	モニター取付ねじ ※ビスカバーに同梱 3×6、2本		
ボタン型電池 CR2032 ※リモコンに同梱 (お客様引渡部品)	カードリーダー取付ねじ 4.1×16、4本		
	樹脂製アンカー φ4用、6本		
アルミテープ W50×L150	組立要領書(本書)		
取扱説明書 (お客様引渡部品)	電気工事ちらし ※電源・チューナーボックスに同梱		

別梱包		
<b>LEDケーブル</b> (お客様引渡部品)  (両面テープ:2枚)	<b>外部コントロール用 変換ケーブル</b> (お客様引渡部品) 	<b>補強鋼板 EKG31153</b> HAシリーズ平天井/ HBシリーズアーチ天井/ HBシリーズ平天井 (発泡断熱材付き) の場合 

★B-CASカード、リモコン、リモコンホルダー、ボタン型電池、取扱説明書、外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルは、お客様に確実にお渡しください。また保管の際は直射日光のあたる場所(窓際など)に置かないでください。

## 試運転(元請店実施)に必要な部材

お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合のみ必要です。

リモコン付の映像機器(ビデオ・DVDなど)		
<b>本体</b> 	<b>リモコン</b> 	<b>再生するビデオかDVD</b> 
<b>AVコード</b> 		

# システム図 (テレビ接続部分)

## ⚠ 注意



必ず実行

- 落雷に備えて、アンテナ設備にアースを取るか、保安器を必ず設置してください。

## ⚠ 注意

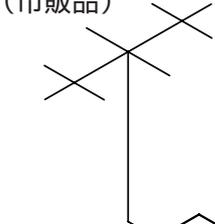


必ず実行

- 取付の際は、必ず屋内開閉器(ブレーカー)と漏電遮断器を設置してください。

※電気工事で配線します。

VHFアンテナ  
(市販品)



UV混合器  
(市販品)

保安器  
(市販品)

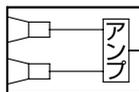
アース

アース

壁面端子

アンテナ線 同軸  
5C相当

DVD/ビデオ等  
(AV出力がある物)  
注)接続方法は次頁を参照してください。



UBセレクト商品「浴室オーディオ」  
注)「浴室オーディオ」と接続する場合は、別途接続ケーブル「EKK30033」が必要になります。

破線囲み部分以外は、全て電気工事区分です。

UHFアンテナ(市販品)

※地上デジタル放送を受信する為には、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。

CATV

※CATVへの接続については各CATV会社にご確認ください。

注)中継ケーブルを電線管に通して設置する場合は内径φ22の電線管を使用してください。

ブースター(市販品)

(アンテナから送られてくる電波が弱く受信障害となる場合は、ブースタ(増幅器)を設置してください。電波が強すぎて受信障害となる場合は、アッテネータ(減衰器)を用いて受信感度を弱めてください。)

カードリーダー

カードリーダー  
中継ケーブル  
(4.5m)

電源・チューナーボックス

室内開閉器  
(ブレーカー)

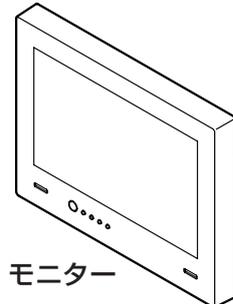
漏電遮断器

分配器  
(市販品)

機能アース  
(安全アースではありません)

ここで実用感度55dB $\mu$ V以上85dB $\mu$ V以下が必要です。

UB組立(破線内)



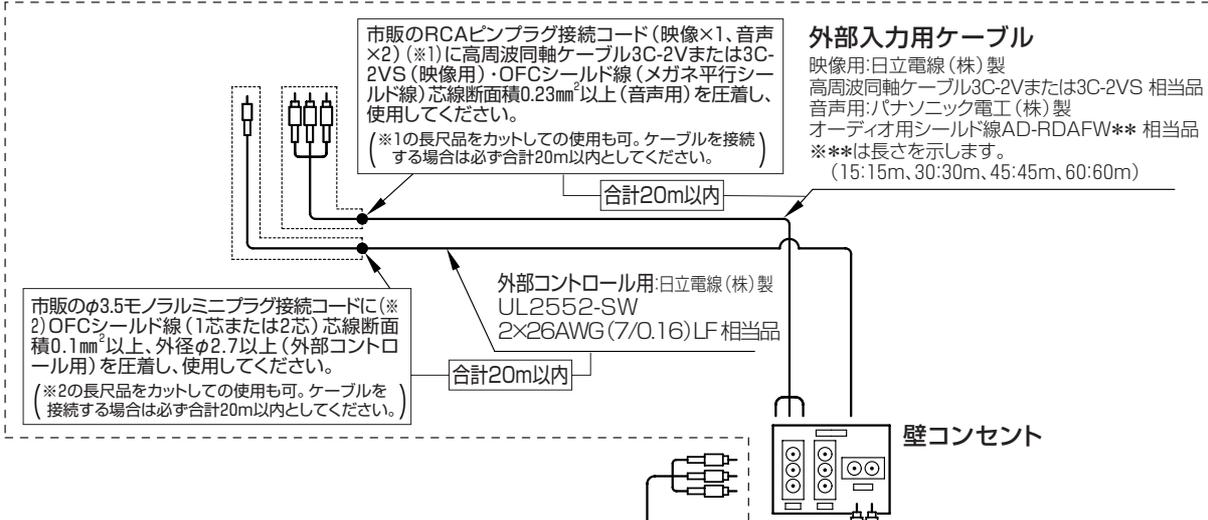
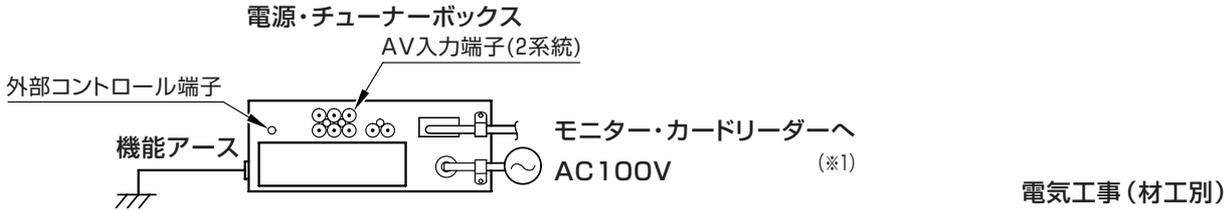
モニター

モニター中継ケーブル(4.5m)

注)中継ケーブルを塩ビ管又は電線管を使用し設置する場合は内径φ36以上の塩ビ管又は電線管を使用してください。

# システム図 (外部機器接続部分)

内が電気工事店様の作業範囲となります。



## ご注意ください

高周波同軸ケーブル(映像用)/OFCシールド線(音声用)+市販のRCAピンプラグ接続コード、OFCシールド線(外部コントロール用)+市販のφ3.5モノラルミニプラグ接続コードはそれぞれ合計20m以内としてください。  
20mより長いと浴室テレビのリモコンで外部機器を操作できない場合があります。

## ⚠ 注意

### 【設置前にご確認ください】



必ず実行

- 電源・チューナーボックスから壁コンセントまでのケーブルは合計20m以内としてください。ケーブルが届く範囲に壁コンセントを確実に設置できるか確認してください。
- 壁コンセント設置位置はお客様と十分ご相談してください。  
壁コンセントから外部機器までケーブル長さ(合計2m)の制限があります。
- 電源・チューナーボックスから壁コンセントまで壁裏ケーブル配線が可能か確認してください。

# システムバスルーム取付要領

## 1 取付位置の確認【システムバスルーム】

TOTO製システムバスルーム取付けの場合のテレビ取付要領を記載します。  
 在来浴室取付けの場合は、15ページ「在来浴室取付要領」へお進みください。

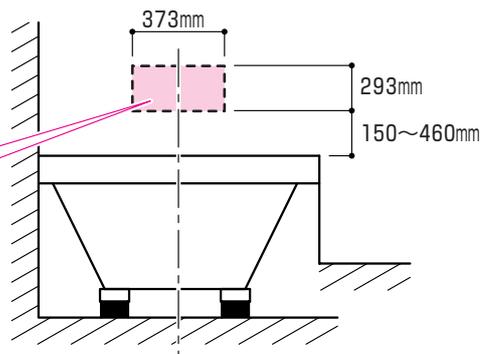
【壁パネル加工図に位置指定がない場合/お客様から変更のご希望があった場合に実施】

モニター取付位置は取付推奨範囲を参考にして、浴槽の中からモニターを正面に見ることのできる位置に決めてください。

壁パネル加工図の浴室テレビモニター取付位置は、「浴槽の中から」「風呂いすに座った状態」「浴槽リムに座った状態」を想定し、いずれの場合も見やすい位置を浴槽正面の取付位置としています。取付推奨範囲を参考にお客様の希望の位置に変更することが可能です。

浴室テレビモニターの下側にカウンター等がある場合（スプリノAタイプで浴槽正面取付の場合など）は、モニター下端から100mm程度離してください。

取付推奨範囲

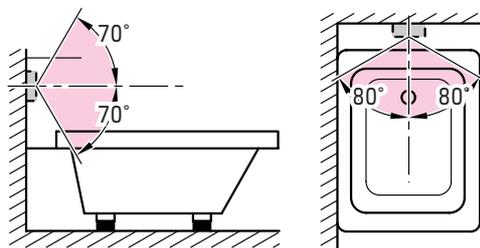


### 注意



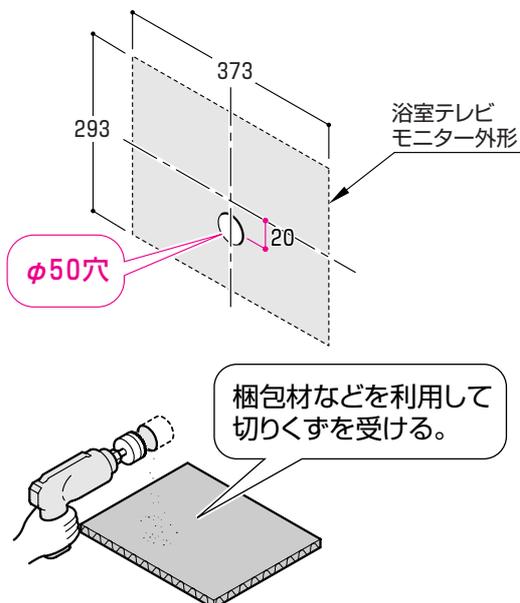
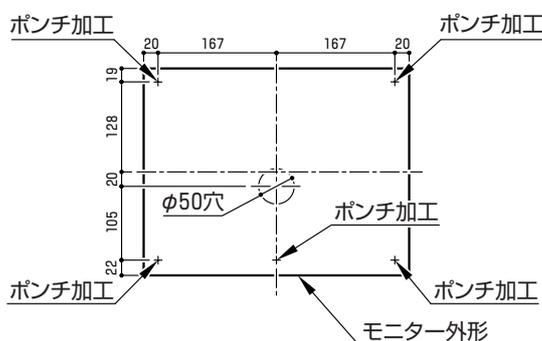
必ず実行

- モニターの視野角（よく見える範囲）は上下70°左右80°です。
- 水栓金具や壁裏配管などとの取合いに十分ご注意ください。
- 浴室テレビモニターの上側と左右両側に、シリコンを塗布できるようにスペースを確保してください。
- 浴室暖房機のある浴室に取付ける場合は温風が直接あたらない位置に取付けてください。
- 直射日光のあたる場所へは取付けないでください。
- 見る角度によって画面が見えにくい場合は、リモコンのメニューから画面の明るさを調節して見やすい輝度にしてください。（取扱説明書 P23）



## 2 壁けがき・穴あけ【システムバスルーム】

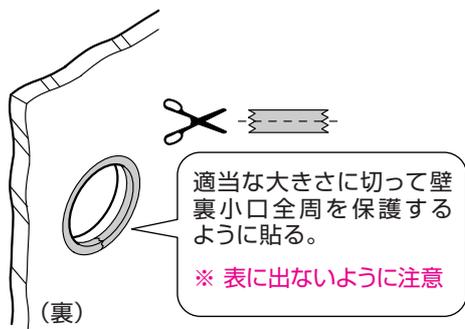
- ①システムバスルーム壁パネル加工図の浴室テレビ取付位置をけがき、穴φ50を開ける。  
 「1 取付位置の確認」で取付位置を決めた場合、φ50穴加工位置はモニター中心位置の20mm下に開ける。



※他社システムバスルームに取付けの場合には、ねじの下穴加工が必要になります。  
 詳しくは、各システムバスルームメーカーにお問い合わせください。

## 2 壁けがき・穴あけ【システムバスルーム】（つづき）

②壁裏側小口にアルミテープを貼る。



### ⚠ 注意

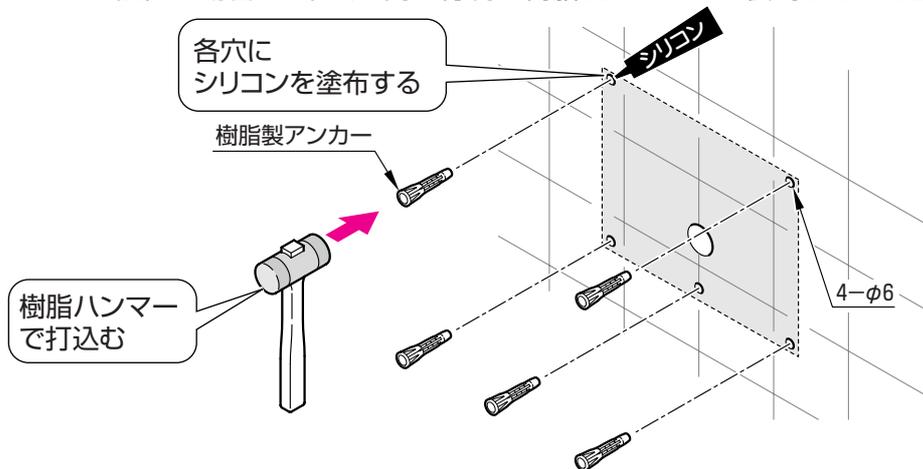


必ず実行

- コード類の保護のため、必ず壁裏側小口にアルミテープを貼ってください。

### 【タイル壁の場合】

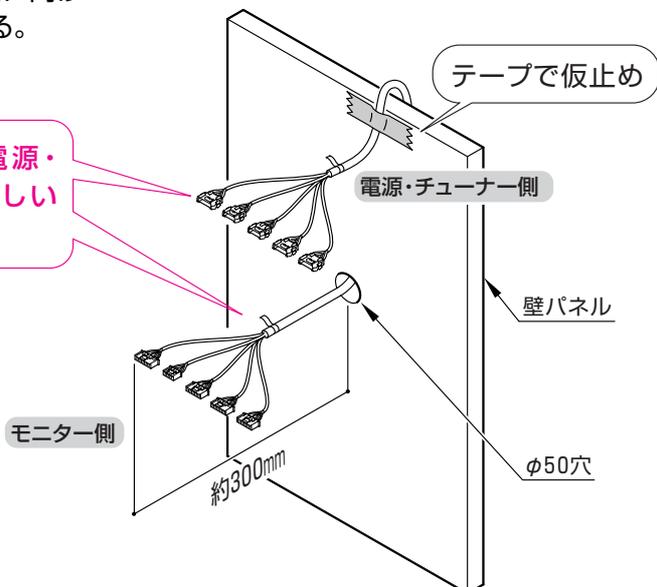
※タイル壁設置の場合は、下穴を開け付属の樹脂製アンカーを使用してください。



## 3 ケーブルの設置【システムバスルーム】

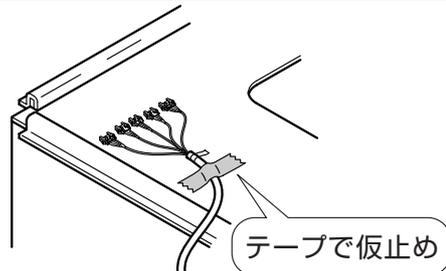
壁パネル組立ての際、モニター中継ケーブルをφ50の穴に通し、反対側を壁パネル上側から内側に向けてかけ、落ちないようにテープなどで仮固定する。

中継ケーブルのラベル（モニター側/電源・チューナーボックス側）を確認の上、正しい向きに設置してください。



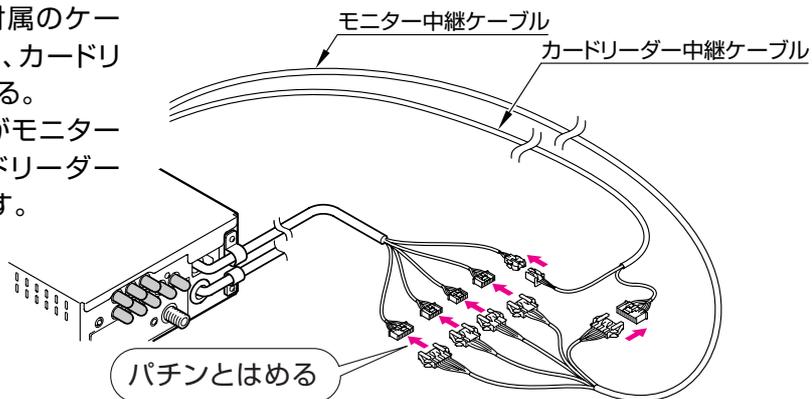
## 4 電源・チューナーボックスの設置【システムバスルーム】

- ①天井パネル取付けの際、中継ケーブルを落とさないように天井裏面に取りまわし、落ちないようにテープなどで仮固定する。



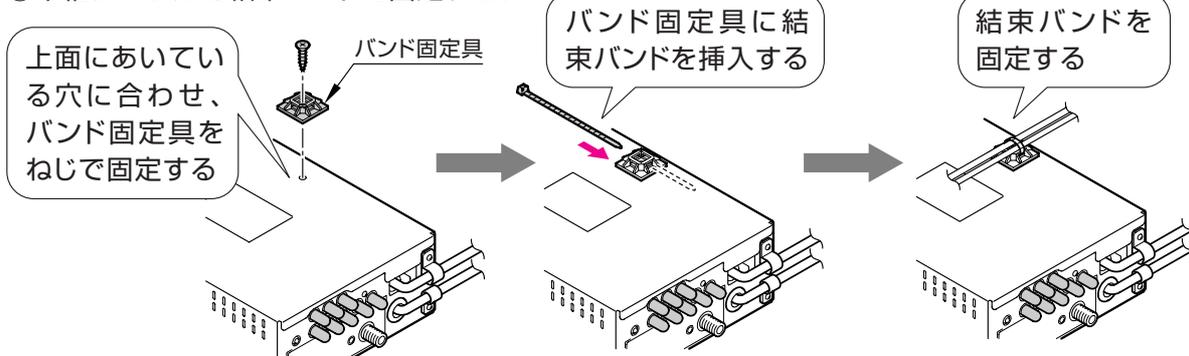
- ②電源・チューナーボックスに付属のケーブルとモニター中継ケーブル、カードリーダー中継ケーブルを接続する。

※5個のコネクタのうち、4個がモニター中継ケーブル、1個がカードリーダー中継ケーブルにつながります。



- ③電源・チューナーボックスの上面に付属の結束バンドを取付ける。

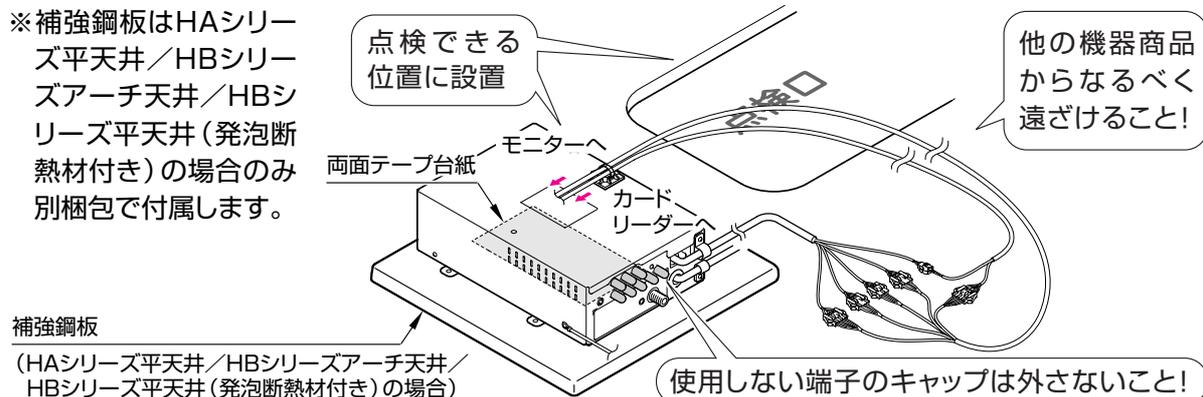
- ④中継ケーブルを結束バンドで固定する。



- ⑤中継ケーブルを天井裏にある他の機器商品からなるべく遠ざける。

- ⑥下図を参照し、電源・チューナーボックスと補強鋼板を天井裏の所定の位置に仮置きする。

※補強鋼板はHAシリーズ平天井／HBシリーズアーチ天井／HBシリーズ平天井（発泡断熱材付き）の場合のみ別梱包で付属します。



補強鋼板  
(HAシリーズ平天井／HBシリーズアーチ天井／HBシリーズ平天井（発泡断熱材付き）の場合)

※下記の注意を必ずお守りください。機器の故障や火災・漏電の原因となります。

●HA／HBシリーズの電源・チューナーボックス設置位置については、各システムバス本体の組立要領書を参照ください。

※電源・チューナーボックスは点検しやすい向きに設置してください。

## 4 電源・チューナーボックスの設置【システムバスルーム】(つづき)

- ⑦位置が決まったら、補強鋼板の裏面の両面テープの保護紙をはがし、補強鋼板を固定する。(HAシリーズ平天井/ HBシリーズアーチ天井/ HBシリーズ平天井(発泡断熱材付き)の場合)
- ⑧電源・チューナーボックスの裏面の両面テープの保護紙をはがし、電源・チューナーボックスを固定する。

### ⚠ 注意



必ず実行

- 電源・チューナーボックスは必ず点検できる位置に設置してください。
- 中継ケーブルはなるべく他の電気機器から遠ざけて配線してください。
- 両面テープで貼付ける際、貼付け面のほこりなどをあらかじめ掃除してください。
- 電源・チューナーボックスに貼付けてあるのは電気工事用のちらしです。電気工事まではがさないでください。
- AV入力及び音声出力をしない場合は、端子のキャップを外さないでください。
- 中継ケーブルを接続後に、VVVFケーブルを接続するようにしてください。
- カードリーダーの設置は電気工事区分です。カードリーダー中継ケーブルは電気工事まで天井裏に仮置しておいてください。
- 天井に保温材が貼ってある場合には電源・チューナーボックス設置部の保温材を約300×350程度はがし、天井に直接電源・チューナーボックスを設置して下さい。

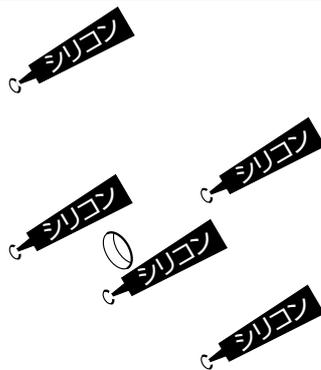


禁止

電源・チューナーボックスの上や横をグラスウールなどの保温材で覆わない  
電源・チューナーボックスの上へは換気ダクトを設置しない

## 5 モニター取付金具の設置

- ①「2 壁けがき・穴あけ」①のポンチ加工部にシリコンを塗布する。



- ②モニター取付金具に付属のねじ(4.2×25)で、モニター取付金具を仮締めする。

仮締めする  
(5箇所)

付属のねじ  
(4.2×25)

モニター取付金具

### ⚠ 注意

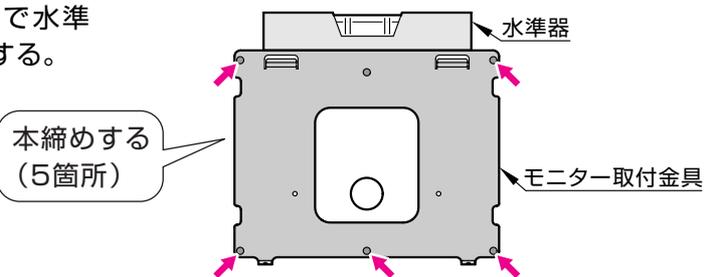


必ず実行

- このあと水平レベル出しを行いますので、本締めはせず、仮締めを行ってください。

## 5 モニター取付金具の設置(つづき)

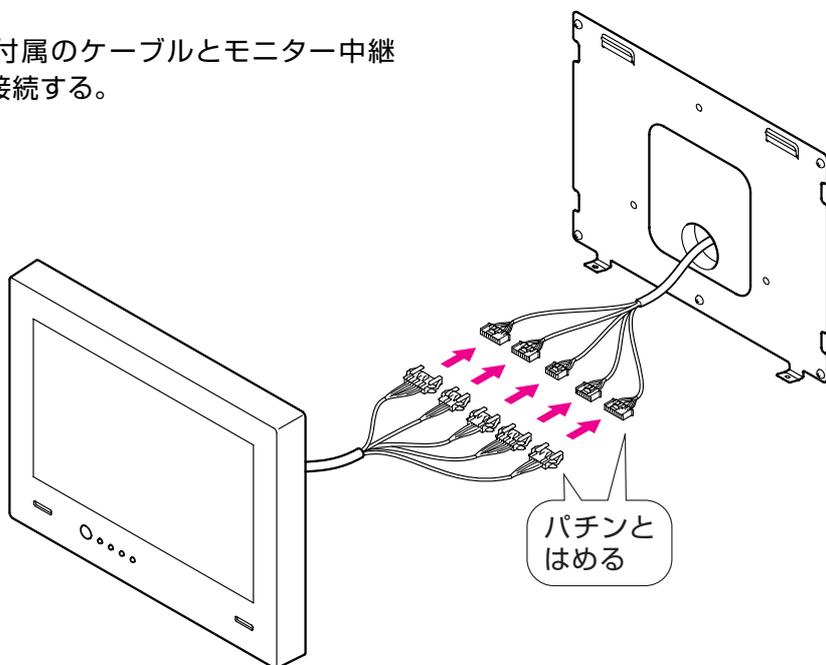
- ③モニター取付金具を仮設置した状態で水準器で水平を出しながら、ねじを本締めする。



## 6 モニターの取付け【システムバスルーム】

タイル壁の場合は、19ページ「6.モニターの取付け【在来浴室】」へお進みください。

- ①モニターに付属のケーブルとモニター中継ケーブルを接続する。



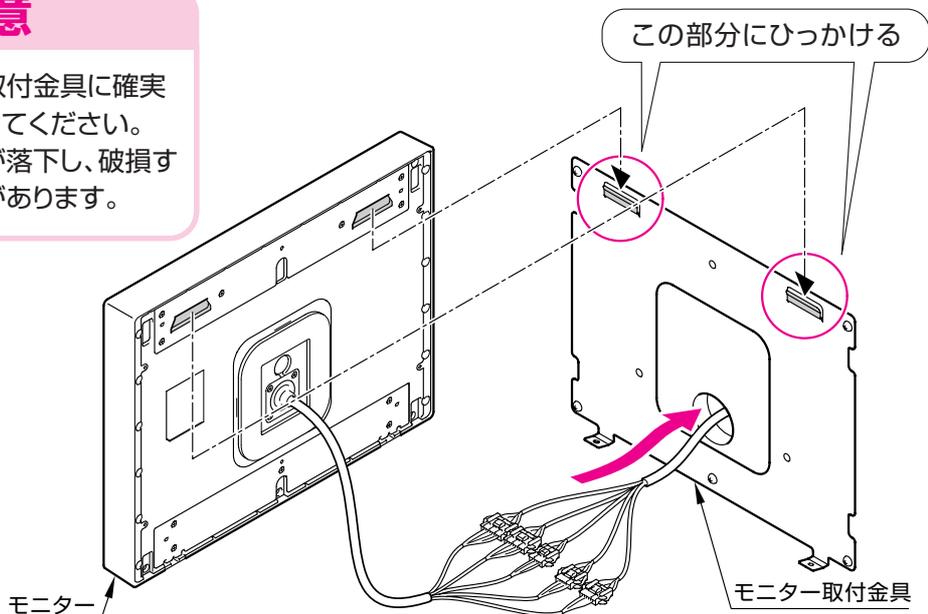
- ②壁裏にケーブル類を納めながら、モニターをモニター取付金具にひっかける。

### ⚠ 注意



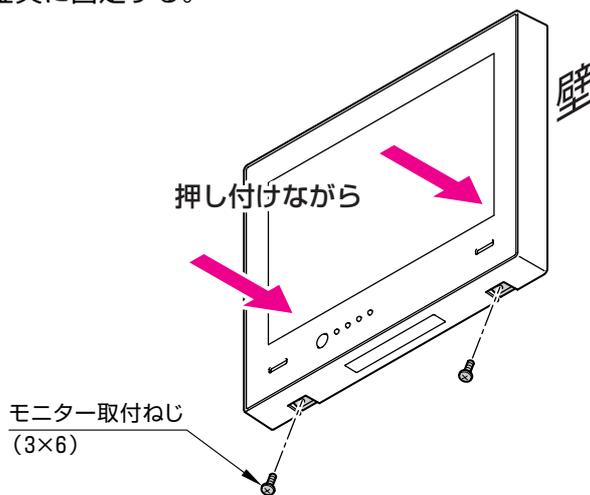
必ず実行

- モニター取付金具に確実に取り付けてください。モニターが落下し、破損するおそれがあります。



## 6 モニターの取付け【システムバスルーム】（つづき）

- ③モニターを壁側へ押しつけながら、モニター取付ねじ（ビスカバーに同梱）でモニターをモニター取付金具に固定する。

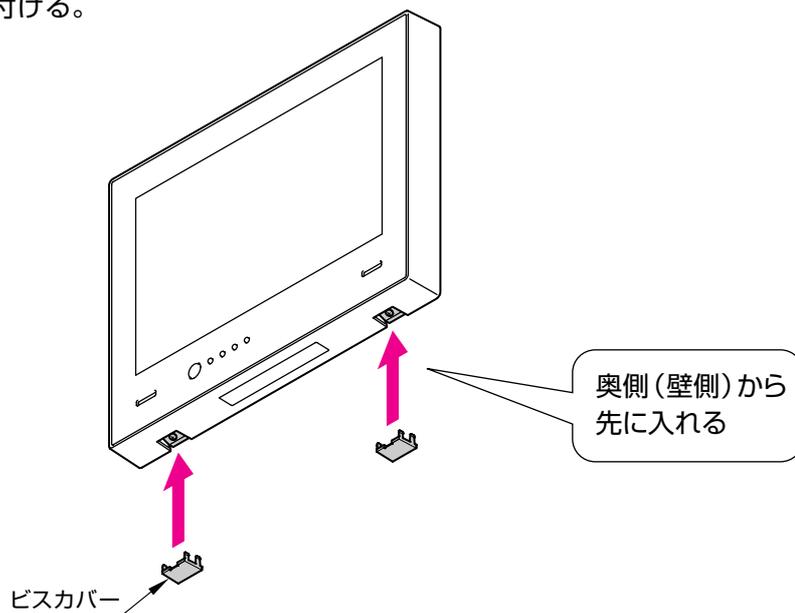


### ⚠ 注意



- ねじの締付けは、必ず手締めで行ってください。  
電動ドライバーを使用するとねじ部が破損するおそれがあります。

- ④ビスカバーを取付ける。



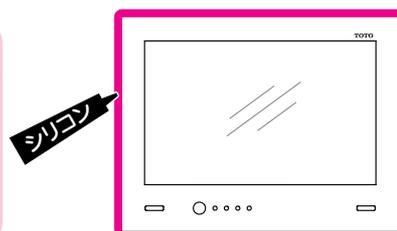
- ⑤モニターの下辺を除く3辺にシリコンを切れ目なく塗布する。

### ⚠ 注意



#### 確実な塗布を行う

- 塗布が不備の場合は、モニター内に水が侵入し故障する原因となります。
- 使用するシリコンの色は基本的に白としてください。



# 在来浴室取付要領

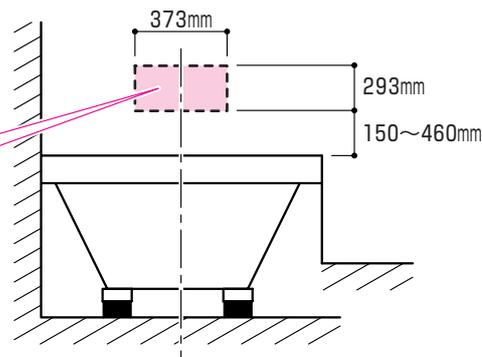
## 1 取付位置の確認【在来浴室】

TOTO製在来浴室取付けの場合のテレビ取付要領を記載します。  
システムバスルーム取付けの場合は、9ページ「システムバスルーム取付要領」へお進みください。

浴室テレビのモニター取付位置は取付推奨範囲を参考にして、浴槽の中からモニターを正面に見ることのできる位置に決めてください。

浴室テレビモニター取付位置は、「浴槽の中から」「風呂いすに座った状態」「浴槽リムに座った状態」を想定し、いずれの場合も見やすい位置を浴槽正面の取付位置としています。取付推奨範囲を参考にお客様の希望の位置に変更することが可能です。

取付推奨範囲

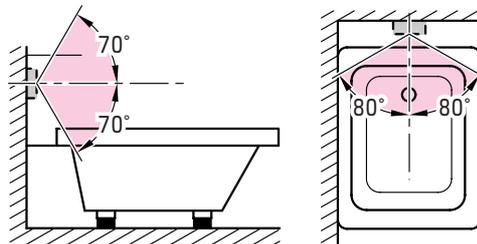


### ⚠ 注意



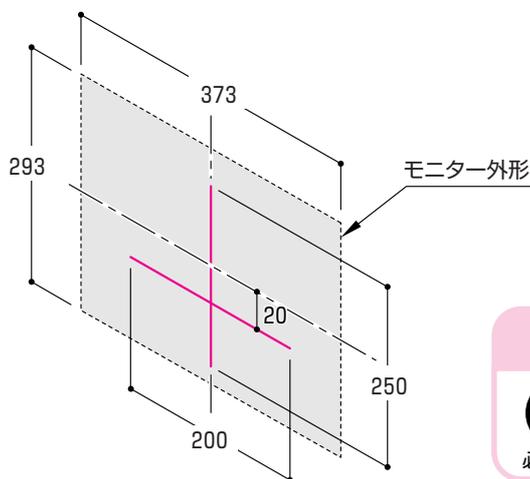
必ず実行

- モニターの視野角（よく見える範囲）は上下70°左右80°です。
- 水栓金具や壁裏配管などとの取合いに十分ご注意ください。
- 浴室暖房機のある浴室に取付ける場合は温風が直接あたらない位置に取付けてください。
- 浴室テレビモニターの上側と左右両側に、シリコンを塗布できるようなスペースを確保してください。
- 直射日光のあたる場所へは取付けないでください。
- 見る角度によって画面が見えにくい場合は、リモコンのメニューから画面の明るさを調節して見やすい輝度にしてください。（取扱説明書 P23）



## 2 壁けがき・穴あけ【在来浴室】

- ① モニター取付位置をけがき、モニター中心位置の20mm下にφ50~φ60穴加工位置を下記寸法でけがく。



### ⚠ 注意

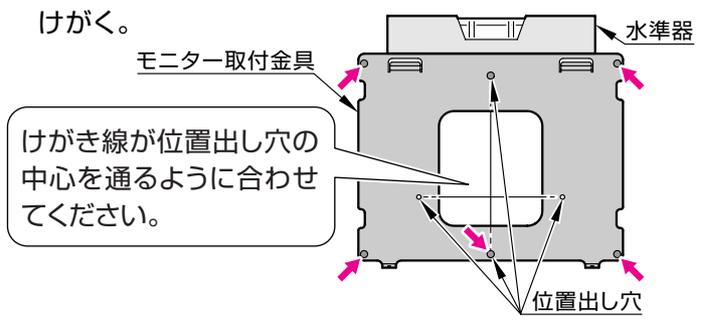


必ず実行

- φ50~φ60穴加工位置はモニター中心位置より20mm下になります。

## 2 壁けがき・穴あけ【在来浴室】(つづき)

②モニター取付金具を壁にあてた状態で水準器で水平を出しながら、固定用ねじ位置(5カ所)をけがく。



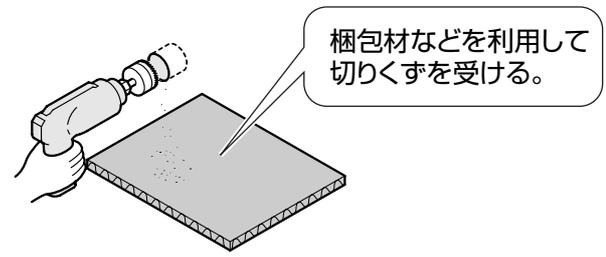
**⚠ 注意**

- φ50～φ60穴加工位置はモニター取付金具の中心ではありません。必ず上記要領で取り付けてください。

**必ず実行**

※取付ける壁の材質によって取付強度を確保できない場合は、壁裏補強材を使用してください。

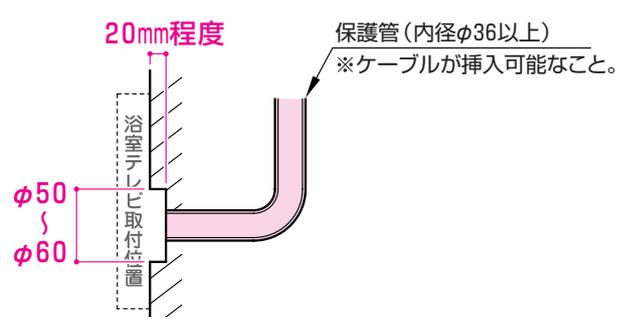
③φ50～φ60穴を①のけがき線の中央にあけ、固定用ねじ位置に下穴をあける。  
壁面に直接ねじで固定できる場合はφ2.8。  
同梱の樹脂製アンカーを使用する場合はφ6にしてください。



## 3 ケーブル設置【在来浴室】

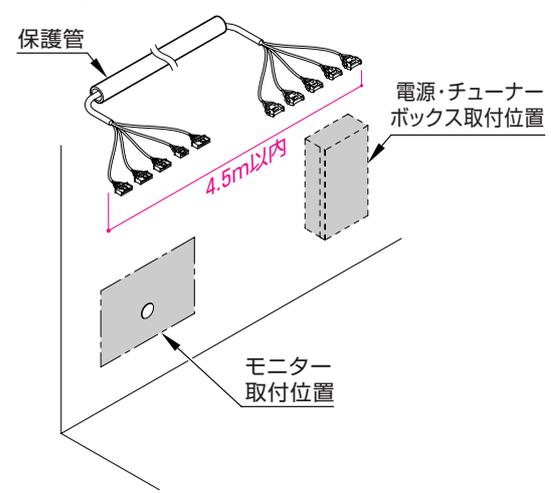
### 屋内配線の場合

〈モニター中継ケーブル〉  
壁にφ50～φ60の空間を設け、ケーブル類を通す保護管を設置してください。



### 屋外配線の場合

モニターに付属のケーブル取出し位置付近から電源・チューナーボックス設置位置付近まで配線する。



**⚠ 注意**

- 付属のモニター中継ケーブルの長さは4.5mです。ケーブルの届く範囲内に電源・チューナーボックスを設置してください。4.5m以上必要な場合は、別売品のモニター中継ケーブル【アフター用】(P.32)を使用いただくと9mまで延長可能になります。
- ケーブルは必ず内径φ36以上の保護管の中を通してください。環境により劣化が早まるおそれがあります。
- 屋外壁開口部には、雨水の浸入のなきようコーキング等を実施してください。
- コネクタは防水仕様ではありませんので、必ず防水処置を行ってください。

**必ず実行**

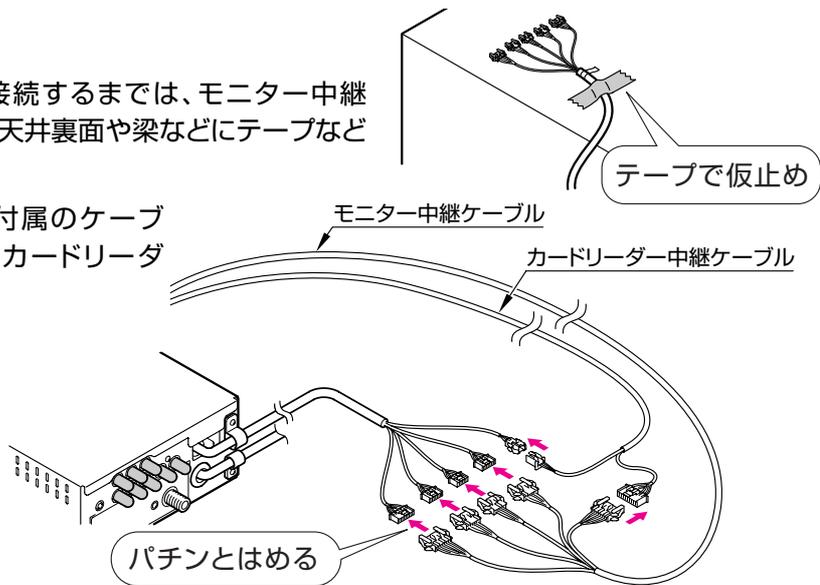
## 4 電源・チューナーボックスの設置【在来浴室】

### 屋内設置の場合

①電源・チューナーボックスに接続するまでは、モニター中継ケーブルを見失わないように、天井裏面や梁などにテープなどで仮固定する。

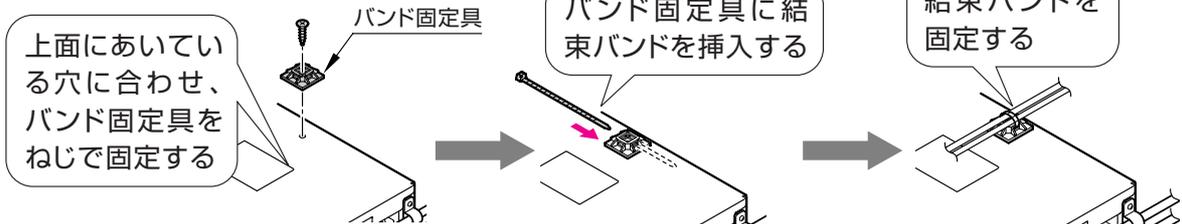
②電源・チューナーボックスに付属のケーブルとモニター中継ケーブル、カードリーダー中継ケーブルを接続する。

※5個のコネクタのうち、4個がモニター中継ケーブル、1個がカードリーダー中継ケーブルにつながります。



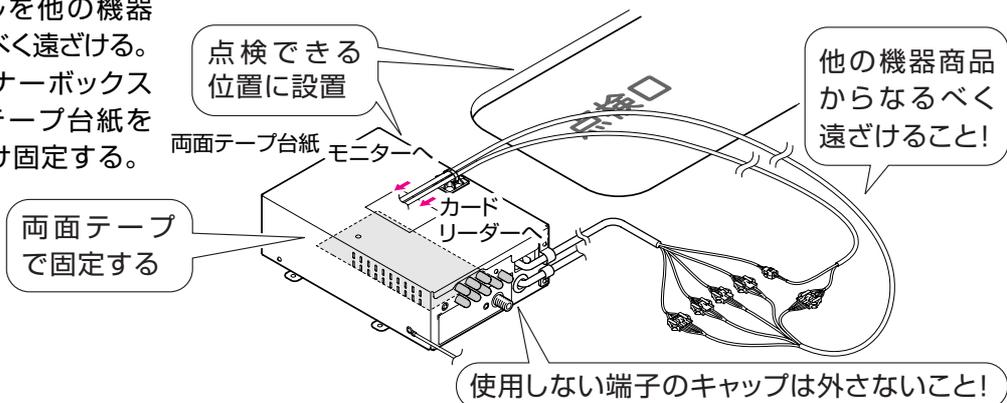
③電源・チューナーボックスの上面に付属の結束バンドを取付ける。

④中継ケーブルを結束バンドで固定する。



⑤中継ケーブルを他の機器商品からなるべく遠ざける。

⑥電源・チューナーボックス下面の両面テープ台紙をはがし、貼付け固定する。



### ⚠ 注意



必ず実行

- 電源・チューナーボックスは必ず点検できる位置に設置してください。
- 中継ケーブルはなるべく他の電気機器から遠ざけて配線してください。
- 両面テープで貼付ける際、貼付け面のほこりなどをあらかじめ掃除してください。
- 電源・チューナーボックスに貼付けてあるのは電気工事用のちらしです。電気工事まではがさないでください。

- AV入力及び音声出力をしない場合は、端子のキャップを外さないでください。
- 中継ケーブルを接続後に、VVFケーブルを接続するようにしてください。
- カードリーダーの設置は電気工事区分です。カードリーダー中継ケーブルは電気工事まで天井裏に仮置しておいてください。



禁止

制御ボックスの上や横をグラスウールなどの保温材で覆わない  
制御ボックスの上へは換気ダクトを設置しない

## 4 電源・チューナーボックスの設置【在来浴室】（つづき）

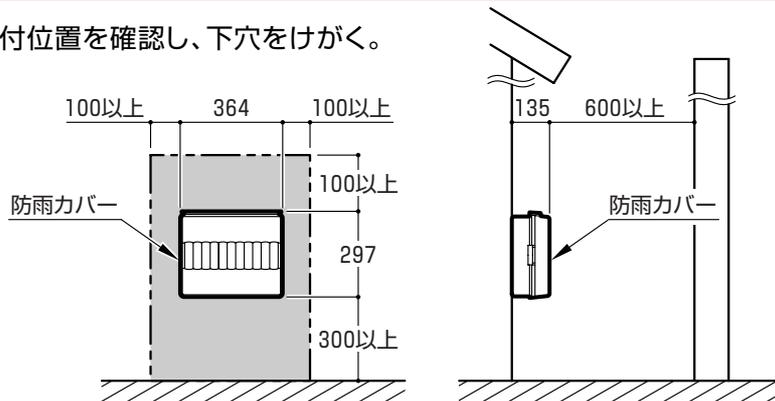
### 屋外設置の場合

### ⚠ 注意

#### 必ず防雨カバーを取付ける

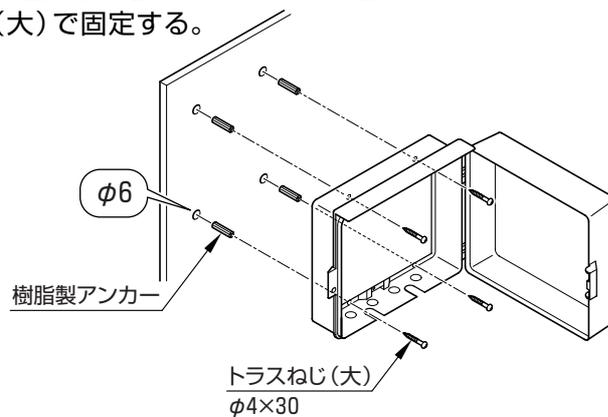
- 屋外設置の場合は必ず防雨カバーをご使用ください。電源・チューナーボックスは防水仕様ではありませんので感電など事故のおそれがあります。
- コード類の長さを考慮して取付位置を決めてください。防雨カバーは別売品（PZ6032）にてご用意しております。

① 防雨カバー取付位置を確認し、下穴をけがく。



② 下穴（φ6）をあけて取付位置に樹脂製アンカーを打ち込む。

③ 防雨カバーをトラスねじ（大）で固定する。



④ 電源・チューナーボックスに付いている取付固定穴（4カ所）を使用して電源ボックスを防雨カバー内にトラスねじ（小）で固定する。

※ 電源・チューナーボックスは端子側を下側にし、図のように防雨カバー内にガタツキのないように取付けてください。

取付板と電源・チューナーボックスの上端を合わせる

左右均等に取付ける

トラスねじ（小）  
φ4×15

ケーブル類を差し込むため下側をあげる

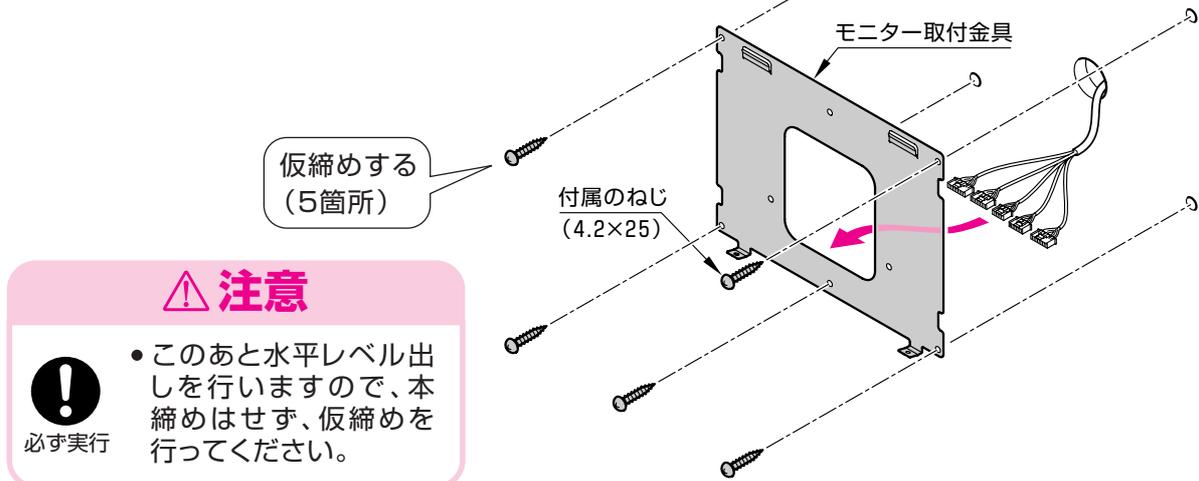
防雨カバー

取付板

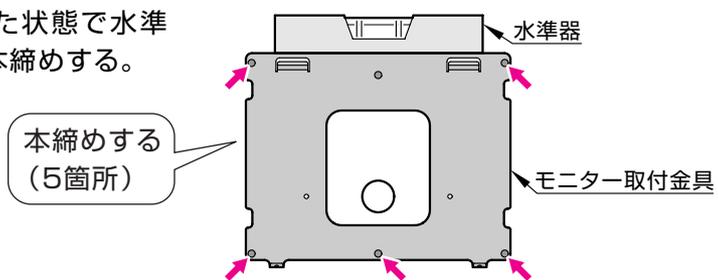
端子側を下側にする

## 5 モニター取付金具の設置

- ①「2 壁けがき・穴あけ【在来浴室】」③の固定用ねじ穴加工部にシリコンを塗布する。  
※同梱の樹脂製アンカーを使用する場合は、アンカーを樹脂ハンマーで打ち込んでください。
- ②モニター取付金具に付属のねじ(4.2×25)で、モニター取付金具を仮締めする。

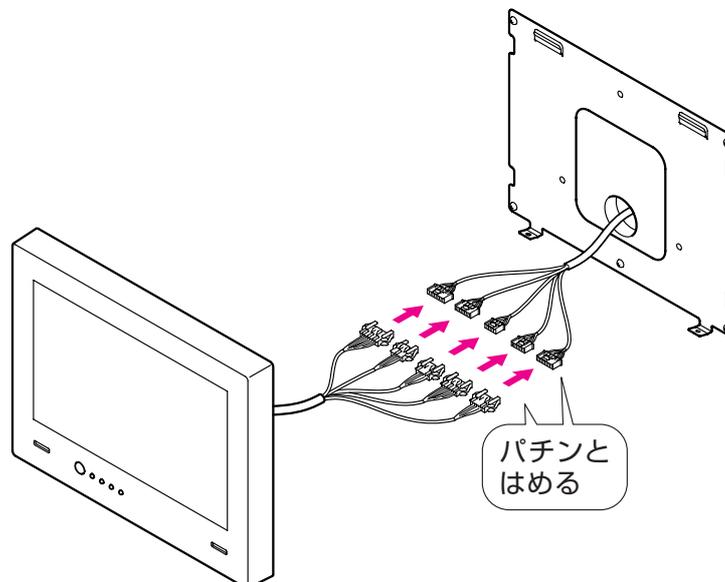


- ③モニター取付金具を仮設置した状態で水準器で水平を出しながら、ねじを本締めする。



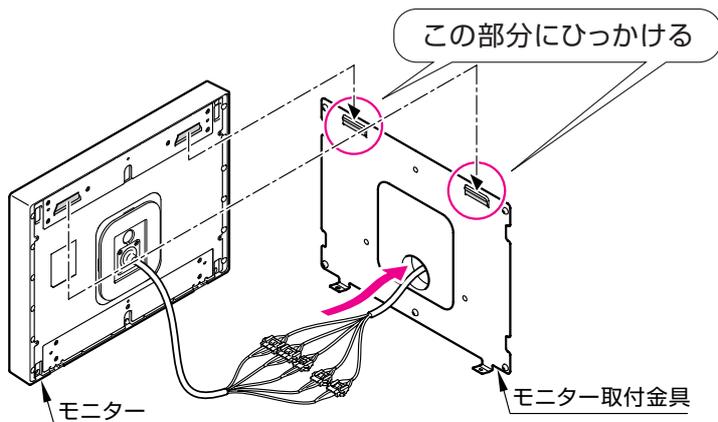
## 6 モニターの取付け【在来浴室】

- ①モニターに付属のケーブルとモニター中継ケーブルを接続する。



## 6 モニターの取付け【在来浴室】(つづき)

②壁裏にケーブル類を納めながら、モニターをモニター取付金具にひっかける。



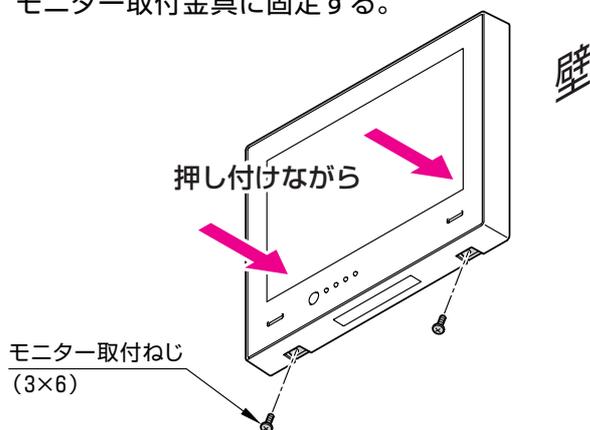
### ⚠ 注意



必ず実行

- モニター取付金具に確実に取り付けてください。モニターが落下し、破損するおそれがあります。

③モニターを壁側へ押しつけながら、モニター取付ねじ(ビスカバーに同梱)でモニターをモニター取付金具に固定する。



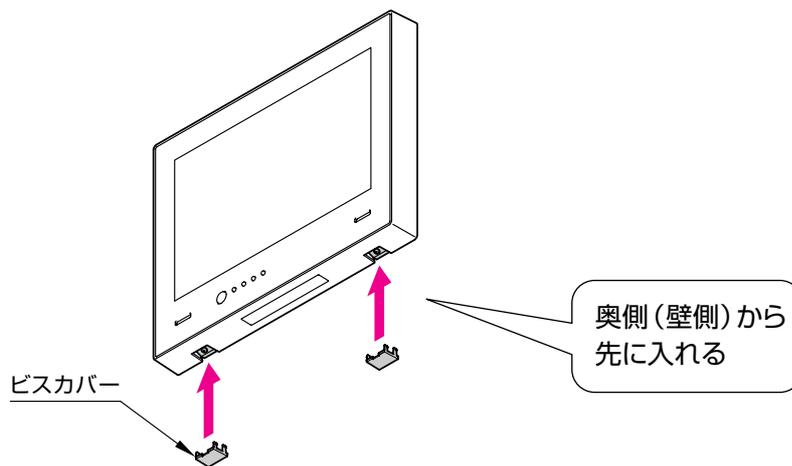
### ⚠ 注意



必ず実行

- ねじの締付けは、必ず手締めで行ってください。電動ドライバーを使用するとねじ部が破損するおそれがあります。

④ビスカバーを取付ける。



⑤モニターの下辺を除く3辺にシリコンを切れ目なく塗布する。

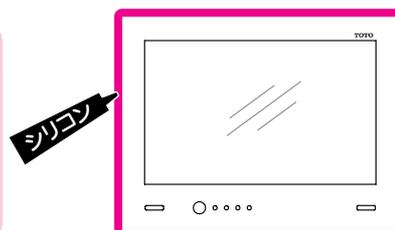
### ⚠ 注意



必ず実行

#### 確実な塗布を行う

- 塗布が不備の場合は、モニター内に水が侵入し故障する原因となります。
- 使用するシリコンの色は基本的に白としてください。



## 7 カードリーダーの設置

### ⚠ 注意



#### B-CASカードをカードリーダーに差し込まない

- B-CASカード使用許諾契約約款により、B-CASカードのパッケージを開封した時点でお客様とB-CAS社との間に契約が成立したと見なされます。B-CASカードはパッケージを開封せずにお客様にお渡しください。



#### カードリーダーは脱衣所壁面などお客様の手が届く場所に設置する

- B-CASカードはお客様ご自身でカードリーダーに差し込む必要がありますので、必ずお客様の手が届く場所に設置してください。



#### 浴室内からの湯気・温風などが直接かからない場所に設置する

- 故障の原因となります。



#### 必ずB-CASカードを抜き差しできる向きに設置する

- B-CASカードはお客様ご自身でカードリーダーに差し込む必要があります。周囲にカード挿入の障害となるものがないことを確認後、設置してください。



#### 通電 (AC100V) したままコネクタを抜き差ししない

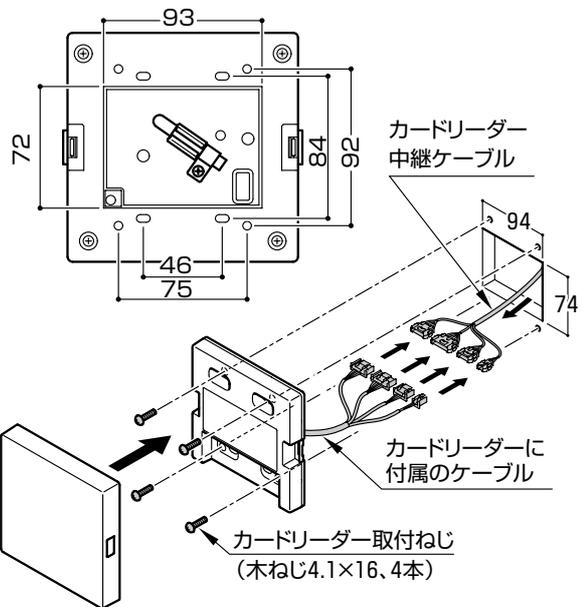
- 製品が故障・破損するおそれがあります。

カードリーダー設置方法は2パターンありますので、現場の状況に合わせて取付けやすい方法で取付けてください。

※カードリーダー中継ケーブルを保護管に通し取付ける場合は、内径φ22保護管を使用してください。

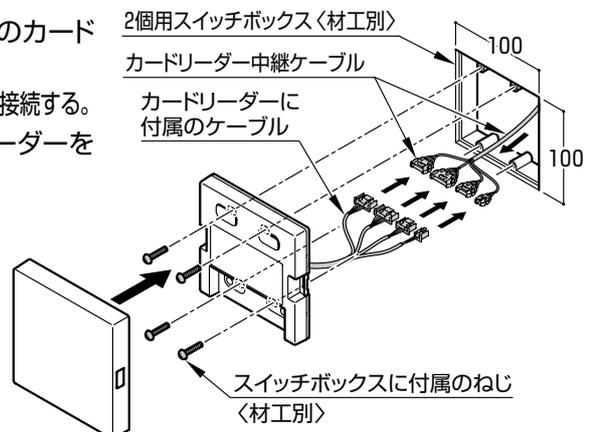
### A 壁へ直接取り付ける場合

- ①壁に開口を行う (開口サイズ:74×94)
- ②天井に仮置きしていたカードリーダー中継ケーブルのカードリーダー側を開口部分まで配線する。
- ③カードリーダーに付属のケーブルとカードリーダー中継ケーブルを接続する。
- ④カードリーダー取付ねじ (木ねじ4.1×16、4本) でカードリーダーを壁に固定する。



### B 2個用スイッチボックス〈材工別〉を利用して取付ける場合

- ①壁に2個用スイッチボックス〈材工別〉を取付ける。
- ②天井に仮置きしていたカードリーダー中継ケーブルのカードリーダー側を開口部分まで配線する。
- ③カードリーダーに付属のケーブルとカードリーダー中継ケーブルを接続する。
- ④スイッチボックスに付属のねじ〈材工別〉でカードリーダーをスイッチボックスに固定する。



### ⚠ 注意



#### カードリーダーは確実に取付ける

- 作動不良の原因になります。
- カードリーダーは、浴室内には取付けない
- 故障の原因になります。

## 8 電源ケーブル・アンテナ線の接続

電気工事は電気工事店へ依頼してください。

①電源ケーブルを接続する。

### ⚠ 注意



必ず実行

必ず漏電遮断器および屋内開閉器のある電路に接続する

- 感電するおそれがあります。

※電源・チューナーボックス付属の電源ケーブル (VVF 1500mm) を電源に接続してください。

※アース工事 (接地工事) を必ず行ってください。

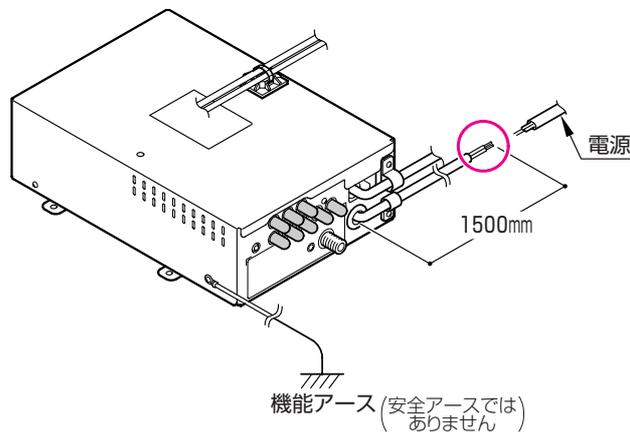
### ⚠ 警告



アース線接続

電気工事は関連する法令・法規にしたがって必ず「有資格者 (電気工事士)」が行う  
また、アース接続は必ず行う

- 誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



②電源・チューナーボックスにアンテナ線を接続する。

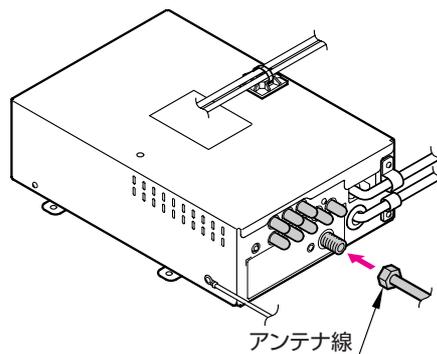
※電源・チューナーボックスのF型コネクタ (アンテナ入力端子) に接続してください。

### ⚠ 注意



必ず実行

- アンテナ端子への入力電界は70dB $\mu$ Vを目安にしてください。
- 受信可能な放送は地上アナログ放送/地上デジタル放送/CATVです。BS、CS放送等のチューナーは内蔵していません。



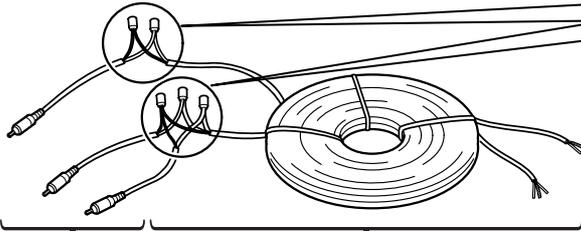
## 9 外部機器用ケーブルの接続

### はじめに

お客様がテレビと外部機器の接続を希望される場合は、取付に必要となりますので別途手配ください。

①ケーブルを設置する。

#### 外部入力用ケーブル×2



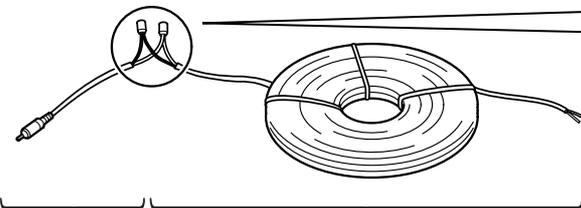
市販のRCAピンプラグ接続コード(映像×1、音声×2)(※1)に高周波同軸ケーブル3C-2Vまたは3C-2VS(映像用)・OFCシールド線(メガネ平行シールド線)芯線断面積 $0.23\text{mm}^2$ 以上(音声用)を圧着し、使用してください。

(※1の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続する場合は必ず合計20m以内としてください。)

RCAピンプラグ  
接続コード(市販品)

映像用:日立電線(株)製 高周波同軸ケーブル3C-2Vまたは3C-2VS 相当品  
音声用:パナソニック電工(株)製 オーディオ用シールド線AD-RDAFW\*\* 相当品  
\*\*\*は長さを示します。(15:15m、30:30m、45:45m、60:60m)

#### 外部コントロール用ケーブル



市販の $\phi 3.5$ モノラルミニプラグ接続コード(※2)にOFCシールド線(1芯または2芯)芯線断面積 $0.1\text{mm}^2$ 以上、外径 $\phi 2.7$ 以上(外部コントロール用)を圧着し、使用してください。

(※2の長尺品をカットしての使用も可。ケーブルを接続する場合は必ず合計20m以内としてください。)

$\phi 3.5$ モノラル  
ミニプラグ  
接続コード(市販品)

外部コントロール用:日立電線(株)製 UL2552-SW 2×26AWG(7/0.16)LF 相当品

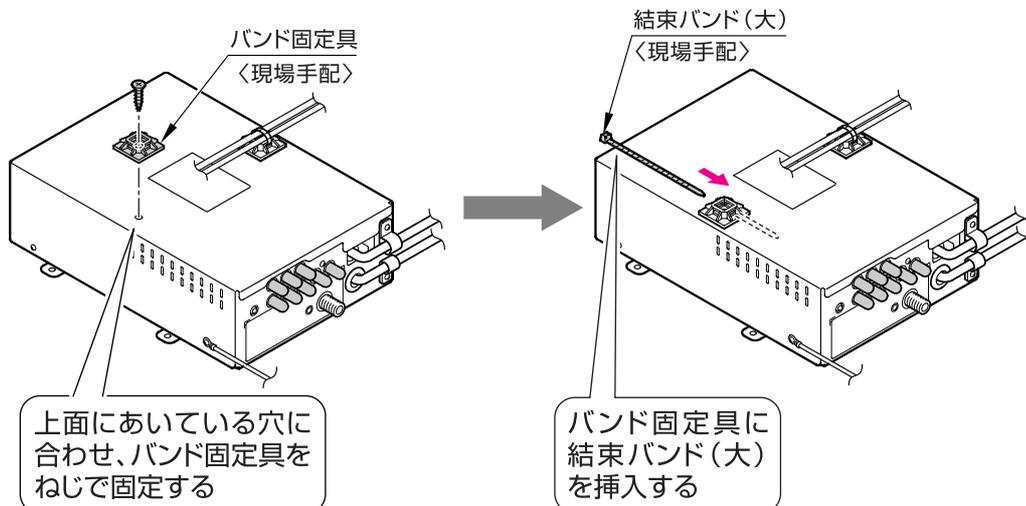
### ⚠ 注意



必ず実行

- 高周波同軸ケーブル(映像用)/OFCシールド線(音声用)+市販のRCAピンプラグ接続コード、OFCシールド線(外部コントロール用)+市販の $\phi 3.5$ モノラルミニプラグ接続コードはそれぞれ合計20m以内にしてください。  
20mより長いと浴室テレビのリモコンで外部機器を操作できない場合があります。

②電源・チューナーボックスの接続の上面に結束バンド(大)〈現場手配〉を取付ける。

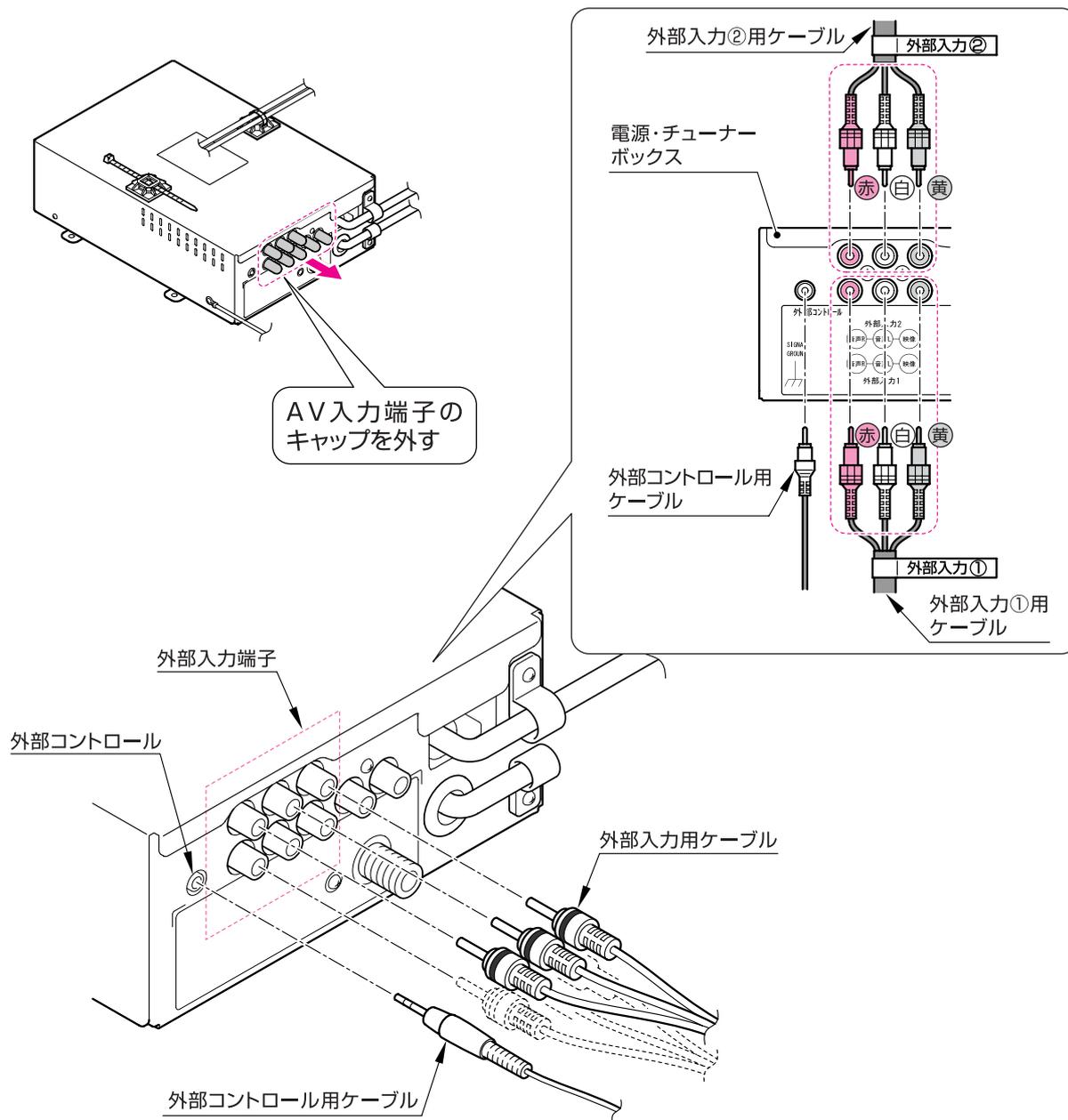


上面にあいている穴に  
合わせ、バンド固定具を  
ねじで固定する

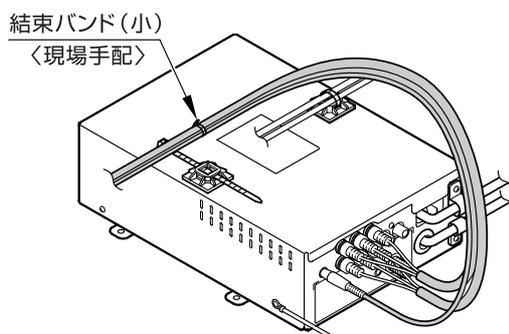
バンド固定具に  
結束バンド(大)  
を挿入する

## 9 外部機器用ケーブルの接続 (つづき)

③外部入力用ケーブルと、外部コントロール用ケーブルを電源・チューナーボックスに接続する。

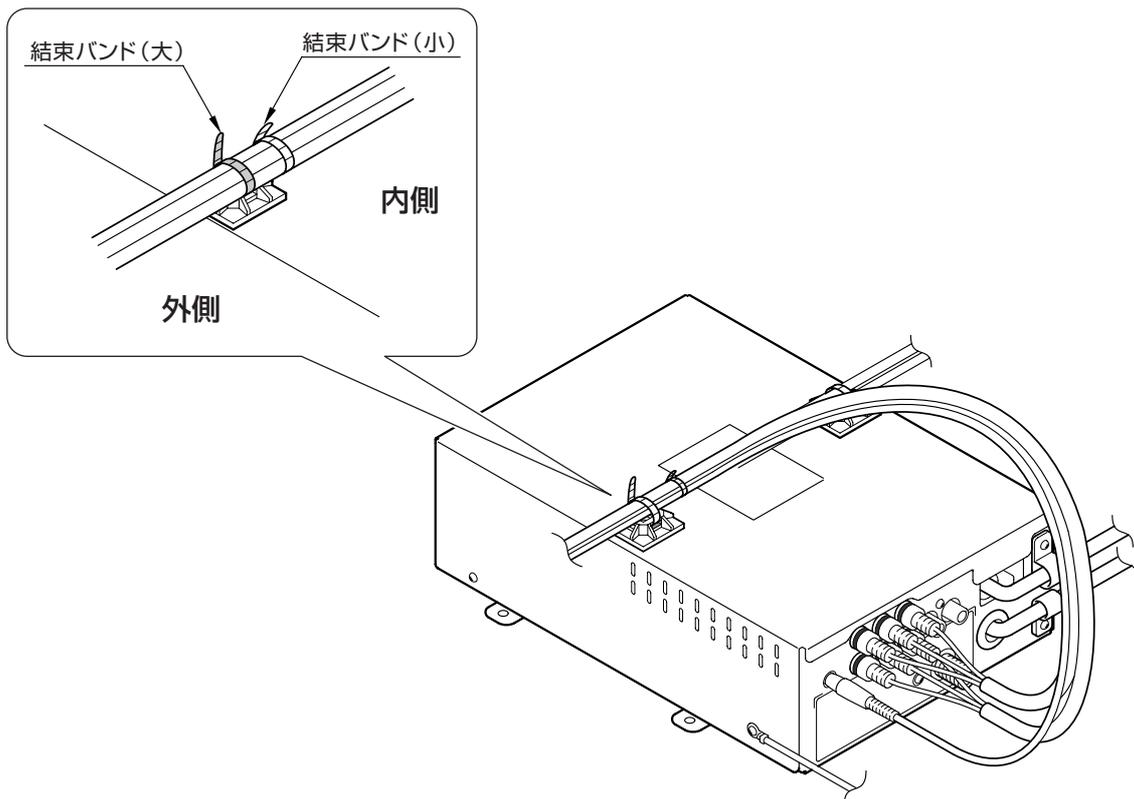


④ケーブルをまとめて結束バンド(小)〈現場手配〉で固定する。



## 9 外部機器用ケーブルの接続 (つづき)

④先に固定した結束バンド(小)〈現場手配〉がバンド固定具の内側になるように結束バンド(大)で固定する。



### ⚠ 注意

外部機器との接続ケーブルがあまった場合、ケーブルを束ねない

- 束ねると外部機器の操作に支障が生じる可能性があります。



必ず実行

屋外配線の場合は必ず保護管の中を通す

- 環境により劣化が早まるおそれがあります。

屋外壁開口部には、雨水の侵入なきようコーキング等を実施する

# 10壁コンセントの取付け〈材工別〉

- ①市販のAV用信号コンセント(パナソニック電工(株)製 WN4822相当品)、オーディオ用信号コンセント(パナソニック電工(株)製 WN4821相当品)、取付枠(パナソニック電工(株)製 WN3710020相当品)、プレート枠、プレートカバー(パナソニック電工(株)製 WN6007W相当品)を用意する。
- ②AV用信号コンセントとオーディオ用信号コンセントの裏面にケーブルを接続する。
- ③市販の取付枠を壁に取付ける。(市販のねじ6本使用)
- ④市販のプレート枠を取付枠に取付ける。(プレート枠に付属のねじ6本使用)
- ⑤市販のプレートカバーをはめ込む。

**AV用信号コンセント①または②(別途手配)**

裏面  
裏面

芯線(映像)  
シールド線  
芯線(音声L)  
シールド線  
芯線(音声R)

(映像側)  
(音声側)

**注意**

ケーブル押え金具を締めつける際、ケーブルをはさみ込まないように注意する

必ず実行

**オーディオ用信号コンセント(別途手配)**

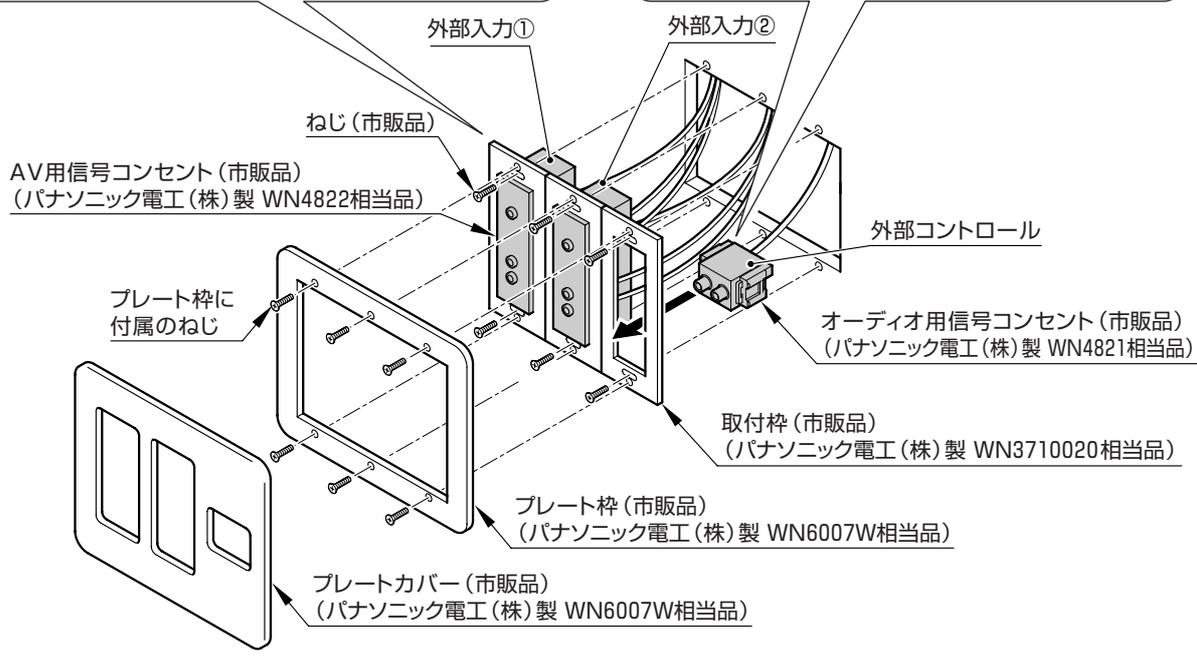
裏面  
裏面

シールド線 芯線(外部コントロール)

**注意**

ケーブル押え金具を締めつける際、ケーブルをはさみ込まないように注意する

必ず実行



**注意**

**【壁開口前にご確認ください】**

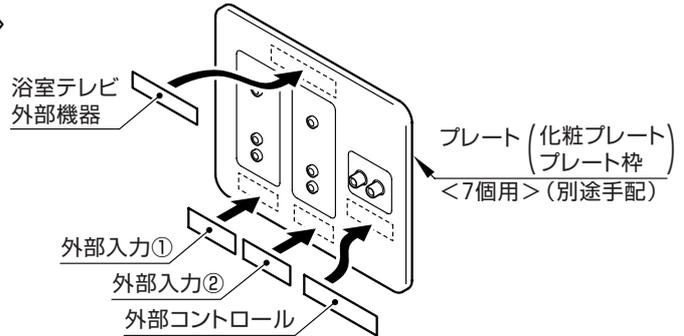
電源・チューナーボックスから壁コンセントまでのケーブルが届くことを確認する  
壁コンセントから外部機器までケーブルが届くことを確認する

必ず実行

- 壁コンセントから外部機器までのケーブルは2mです。(工務店様と十分ご相談してください。)

## 11 ラベルの貼付け〈材工別〉

化粧プレートにコンセントラベル〈材工別〉  
を貼付け壁面に取付ける。



## 12 試運転

### 1次側電源接続後に確認してください

- ①「電源」ボタンを押し、電源が入ることを確認してください。

※モニターのパワーランプ(白色)が点滅して電源が入らない場合、カードリーダー中継ケーブルが正しく接続されていることを確認し、ブレーカー(AC100V)を「切」/「入」してください。ブレーカーを「入」にして約1分待った後、モニターのパワーボタンを押してください。

- ②「外部切替」ボタンを押し、画面が「テレビ」→「外部入力1」→「外部入力2」と切替わることを確認後、「放送切替」ボタンを押し、「テレビ」にしてください。

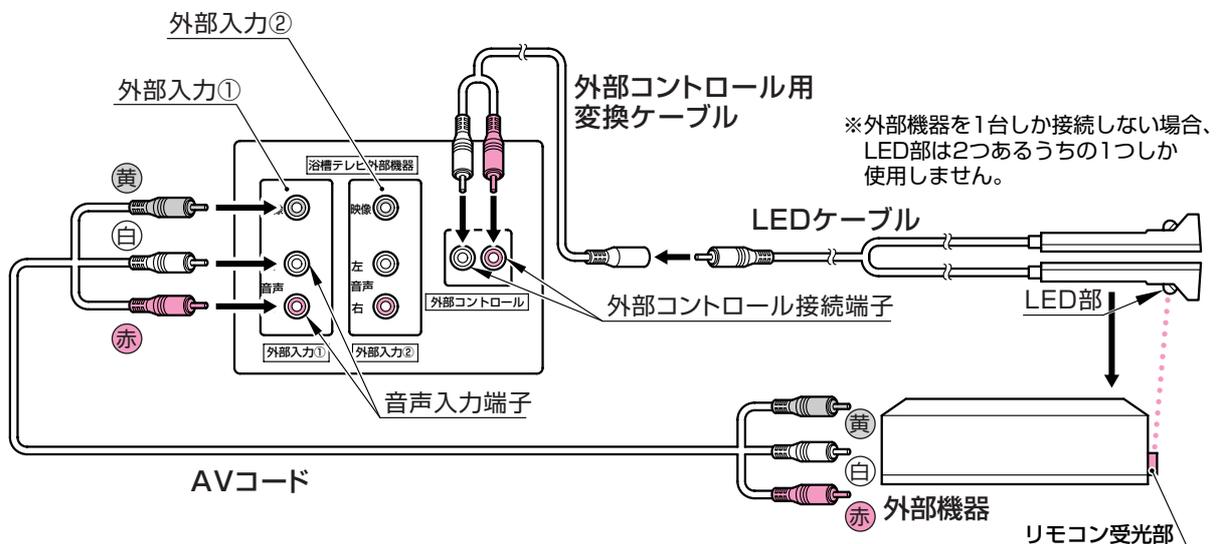
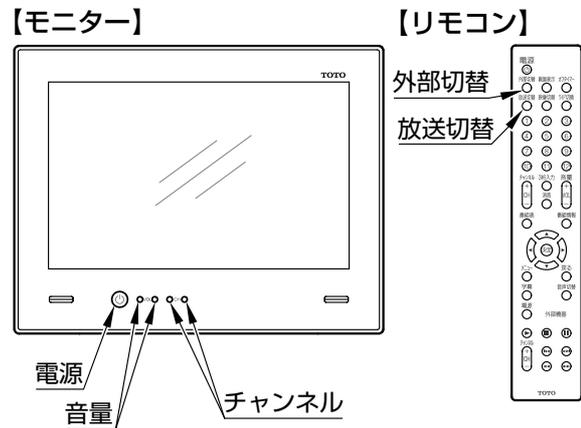
- ③「チャンネル」ボタンを押し、映るチャンネルがあることを確認してください。

※本製品は工場出荷時にVHF(1~12ch)のみ設定されています。

※映らない場合は、以下の手順に従いチャンネル設定を行ってください。

「メニュー」ボタン・押す→メニュー画面内・「地上アナログ設定」を押す→メニュー画面内・「自動チャンネル設定」選択→「決定」ボタン・押す(設定完了後、自動的にテレビ画面に戻ります。)再度、「チャンネル」ボタンを押し、確認してください。

- ④実際に外部機器を接続して動作確認をしてください。



## 12 試運転 (つづき)

### ⚠ 注意



必ず実行

LEDケーブルは映像機器のリモコン受光部に向けて設置し、マスキングテープ等で仮固定する

作動確認後、必ずリモコンコード設定を解除する

- 29～31ページをご覧ください。

### 試運転の際、故障かな?と思ったら

不具合の内容	チェックポイント
電源が入らない	電源は正しく接続されていますか? 屋内開閉器はオンになっていますか? →電源を正しく接続し、電源をオンにしてください。 ※初めて電源をオンにする際は、地上デジタルチューナーに電気を供給する時間が必要なため、約1分待った後にモニターをオンにしてください。 〈モニターの電源ランプ(白色)が点滅して電源が入らない場合〉 カードリーダー中継ケーブルが正しく接続されていることを確認し、ブレーカー(AC100V)を「切」/「入」してください。ブレーカーを「入」にして約1分待った後、モニターの電源ボタンを押してください。
映像が映らない	モニター中継ケーブルは正しく接続されていますか? アンテナは正しく設置されていますか? →アンテナ線およびアンテナを正しく接続・設置してください。 地上デジタル放送を受信するためには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが別途必要です。
映像が悪い	モニター中継ケーブルはしっかりと接続されていますか? アンテナ線が他の電気機器の上を通ったりしていませんか? アンテナの向きは正しいですか? 周囲に雑音となる原因がありませんか? →モニター中継ケーブルをしっかりと接続し、アンテナ配線およびアンテナの向きを調整してください。また雑音の原因を取り除いてください。

### 修理の依頼をされるときは

TOTOメンテナンス(株) TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02  
(フリーダイヤル)にご連絡ください。

受付時間：8:00～19:00

訪問修理：年中無休(一部地域を除く)

※携帯電話・PHSからのご利用は  0570-05-1010(有料)へ

※ 同梱のB-CASカード、リモコン、リモコンホルダー、ボタン型電池、取扱説明書、外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルは取扱説明書の袋に入れ、お客様に確実にお渡しください。

## 13 リモコンコードを設定する

浴室テレビのリモコンに接続した外部機器（DVD・ビデオ等）のボタンを割り当てます。

- 外部機器（ビデオ・DVD等）付属のリモコンから発信される信号を、浴室テレビに登録することで、ビデオやDVD等を浴室内から操作する事ができます。
- このリモコンコードの設定には、外部機器（ビデオ・DVD等）付属のリモコンが必要です。
- 以下、外部機器がDVDまたはビデオの場合を例にして説明します。  
手順に従ってリモコンコードを設定してください。



**1 外部切替ボタンを押す**  
設定したい入力に切り替えます

外部入力1

**2 メニューボタンを押す**  
設定メニューになります

[設定メニュー]

▶映像調整

音声調整  
機能設定

◆で選択 決定で実行 メニューで終了

**3 ▼▲ボタンで「機能設定」を選び**  
決定ボタンを押す

[設定メニュー]

映像調整

音声調整

▶機能設定

◆で選択 決定で実行 メニューで終了

**4 ▼▲ボタンで「外部機器リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す**

[機能設定]

バックライト設定

[節電]

音声出力設定

[オフ]

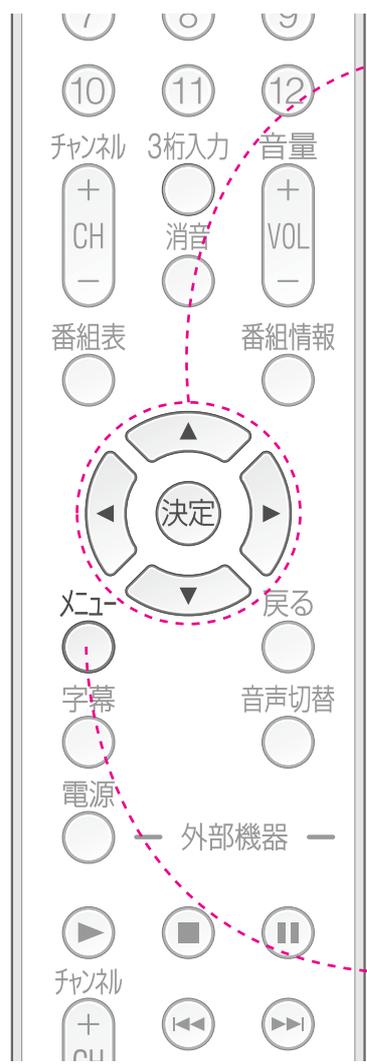
オフタイマー設定

[86分]

▶外部機器リモコン設定

◆で選択 ◆で設定 戻るで戻る メニューで終了

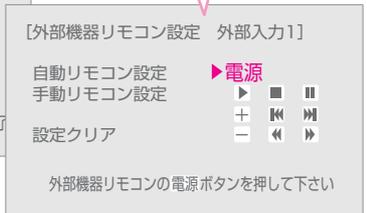
# 13リモコンコードを設定する(つづき)



**5 ▼▲ボタンで「自動リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す**



「外部機器リモコンの[電源]ボタンを押してください」というメッセージが出ます。



**6 設定したい外部機器リモコンを用意して電源ボタンを押す**

この時、電源ボタンは設定完了まで押し続けて下さい(ボタンを押し続けないと登録できないことがあります)。



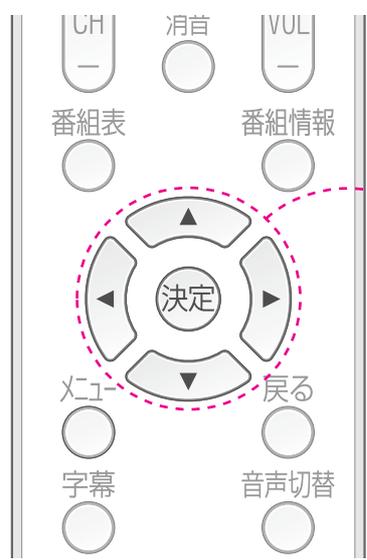
利用できるリモコンキー表示が白→緑に変わり設定完了です。



登録できない場合「設定コードがありません」というメッセージが出ます。

**7 メニューボタンを押す**  
操作を終了します。

## 手動でリモコン設定する場合



**1 外部機器リモコン設定画面を表示する**

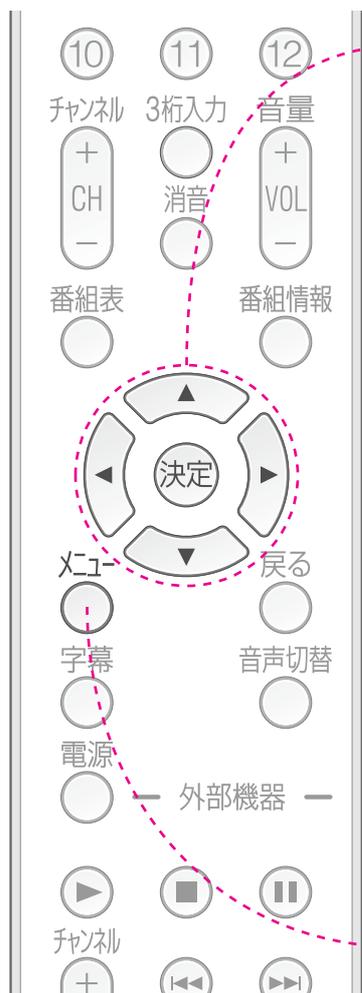


29ページの1~4を参照してください。

**2 ▼▲ボタンで「手動リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す**



## 13 リモコンコードを設定する(つづき)



**3** ▼▲◀▶ ボタンで設定したいリモコンキーを選び決定を押す



「外部機器リモコンの[選択された]ボタンを押してください」というメッセージが出ます。



**4** 設定したい外部機器リモコンを用意して選択したボタンを押す

この時、選択したいボタンは設定完了まで押し続けて下さい(ボタンを押し続けないと登録できないことがあります)。



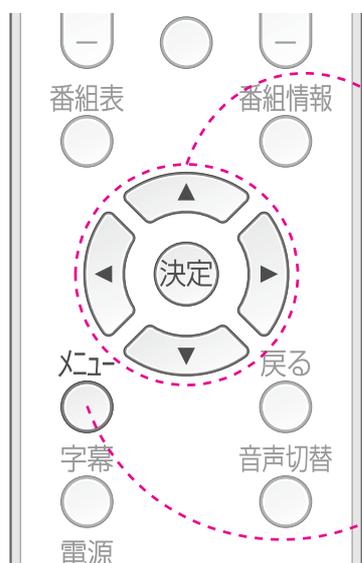
選択したリモコンキー表示が白→緑に変わり設定完了です。

**5** 手順3,4を繰り返して設定したいキーを登録します

**6** 設定が終わったらメニューボタンを押す  
操作を終了します。

## リモコンコードを設定解除する

接続した外部機器(ビデオ・DVD等)の取替えなどでリモコンコードを再設定する時に必要です。



**1** 機能設定の「外部機器リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す

29ページの1~4を参照してください。

**2** ▼▲ボタンで「設定クリア」を選び、決定ボタンを押す



緑→白に変わり設定クリアとなります。

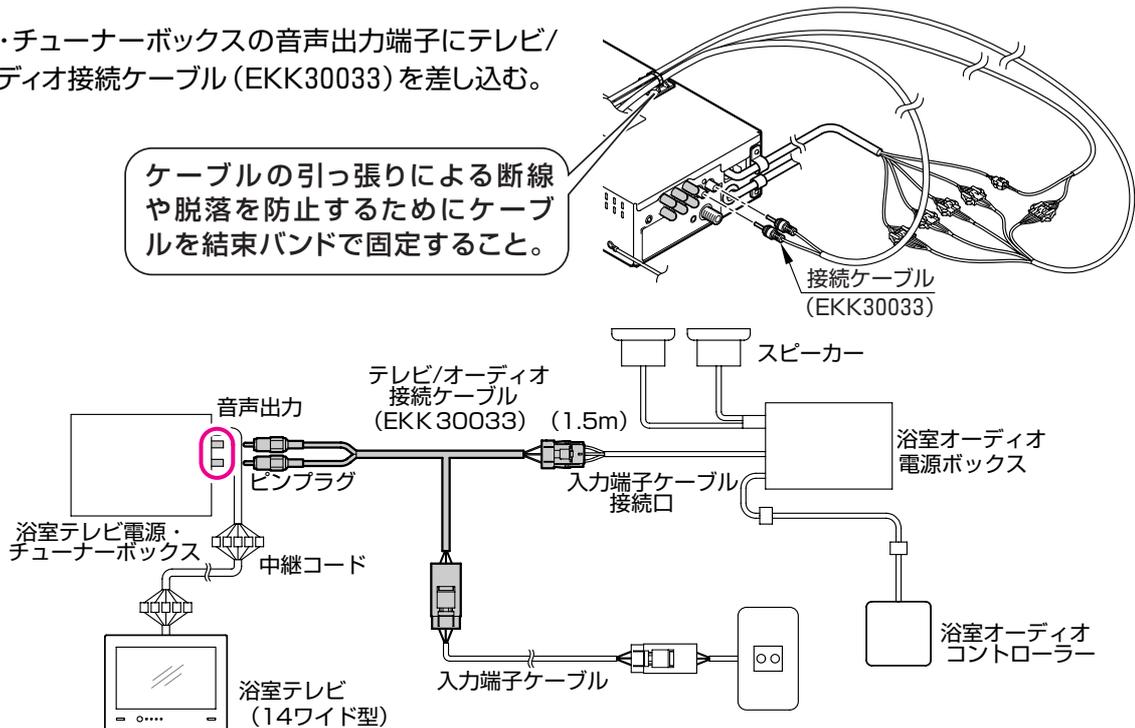
**3** メニューボタンを押す  
操作を終了します。

# その他

## 14 浴室オーディオとの接続方法

電源・チューナーボックスの音声出力端子にテレビ/オーディオ接続ケーブル (EKK30033) を差し込む。

ケーブルの引っ張りによる断線や脱落を防止するためにケーブルを結束バンドで固定すること。



- ※浴室オーディオの取付については浴室オーディオの組立要領書を参照してください。
- ※テレビ/オーディオ接続ケーブルの取付についてはテレビ/オーディオ接続ケーブルに付属の組立要領書を参照してください。

## 15 別売品

品名	品番	必要数	形状	用途
防雨カバー	PZ6032	1	 防雨カバー トラスねじ(大)×4 トラスねじ(小)×2 樹脂製アンカー×4	電源・チューナーボックスを屋外設置する場合に必要です。
延長用モニター中継ケーブル (4.5m)	【UB用】 AFKK559 【在来用】 PZ6066	1		モニター中継ケーブルを延長する場合に必要です。 ※中継ケーブルは延長用モニター中継ケーブルを使用することによって全長9mまで対応可能になります。(それ以上の延長はできません。)

## ※ システムバスルーム後付け時のご注意

- 穴あけ前に必ずケーブル類の配線スペースがあることを確認してください。
- 穴あけ位置にシステムバスルーム壁裏配管やケーブル類、建築側柱など干渉物がないことを確認してください。
- ケーブル類の壁裏配線は針金などを使用し実施してください。  
この際、ケーブル類を傷つけないようご注意ください。

**TOTO**